

2019年11月8日

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明会

説明者 取締役副社長CFO・財務部長 宮崎純一



**Nissan Chemical**  
CORPORATION

**Institutional  
Investor**  
2019 ALL-JAPAN EXECUTIVE TEAM  
MOST HONORED COMPANY



# ハイライト

## 2019上期 実績

- ◆ 営業利益は、前年同期194億円に対し、180億円と14億円の減益となったが、2019年5月15日発表の業績予想178億円に対しては、2億円の**上ぶれ**となった。
- ◆ 親会社株主に帰属する純利益は、前年同期154億円に対し、145億円と9億円の減益となったが、2019年5月15日発表の業績予想137億円に対しては、特別損益9億円を計上し、8億円の**上ぶれ**となった。

## 2019下期 予想

- ◆ 営業利益は、前年同期177億円に対し、206億円と29億円の増益だが、2019年5月15日発表の業績予想209億円に対しては、3億円の**下ぶれ**。
- ◆ 親会社株主に帰属する純利益は、前年同期140億円に対し、161億円と21億円の増益だが、2019年5月15日発表の業績予想165億円に対しては、4億円の**下ぶれ**。

# ハイライト

## 2019年間 予想

- ◆ **営業利益は、前年同期371億円に対し、386億円と15億円の増益だが、2019年5月15日発表の業績予想387億円に対しては、1億円の下ぶれ。**
- ◆ **親会社株主に帰属する純利益は、前年同期294億円に対し、特別損益9億円を計上し、306億円と12億円の増益だが、2019年5月15日発表の業績予想302億円に対しては、4億円の**上ぶれ**。**
- ◆ **株主還元**  
配当は、中間42円、期末46円、計88円とし、前年の中間40円、期末42円、計82円に対し、年間6円の増配、2019年5月15日発表予想年88円と同額で、配当性向は前年実績41.5%に対し、42.1%となる。

自己株式取得は、2019年7月完了の60億円に加え、11月11日より40億円取得開始し、合計100億円となり、前年実績90億円より、10億円の増加。

配当と自己株式取得を合計した総還元性向は、74.6%となり、前年実績72.0%、2019年5月15日発表予想72.5%を上回る(中計目標:2020年度以降75.0%)。

# 2019上実績

(億円)

	2018上			2019上			増減			増減率	2019上予想 (2019/5発表)		
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	計	1Q	2Q	計
売上高	509	471	980	487	478	965	-22	+7	-15	-2%	497	493	990
営業利益	107	87	194	93	87	180	-14	-0	-14	-7%	87	91	178
営業外損益	12	0	12	7	-1	6	-5	-1	-6	-	11	-5	6
経常利益	119	87	206	100	86	186	-19	-1	-20	-10%	98	86	184
特別損益	0	0	0	9	0	9	+9	+0	+9	-	0	0	0
純利益 (1)	88	66	154	78	67	145	-10	+1	-9	-6%	72	65	137
EBITDA (2)	131	113	244	116	111	227	-15	-2	-17	-7%	-	-	228
EPS (円/株)	59.25	44.28	103.53	53.13	45.62	98.75	-6.12	+1.34	-4.78	-5%	-	-	93.25
配当 (円/株)	-	-	40	-	-	42	-	-	+2		-	-	42
配当総額	-	-	59	-	-	62	-	-	+3		-	-	62
売上高営業利益率	21.0%	18.5%	19.8%	19.2%	18.2%	18.7%	-1.8%	-0.3%	-1.1%		17.5%	18.5%	18.0%
ROE	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-
為替レート (円/ドル)	109	111	110	110	107	109					110	110	110
ナフサ (円/kl) (3)	48,700	53,500	51,200	45,400	40,200	42,800					43,000	43,000	43,000

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 実績は財務省貿易統計ベース

# 2019上実績

## <前年比>

(売上高)	◆減収	- 15 億円	(-2%)	(減収) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売
(営業利益)	◆減益	- 14 億円	(-7%)	(増益) 機能性材料 (減益) 化学、農業化学、医薬、卸売
(経常利益)	◆減益	- 20 億円	(-10%)	
(特別損益)	◆増益	+ 9 億円	(特別利益)	+17億円(有価証券売却益17億円・売却額29億円、 12銘柄(うち3銘柄保有全株数売却))
			(特別損失)	-8億円(フルラネルに関するクロスライセンス契約に係わる当社負担金)
(純利益)	◆減益	- 9 億円	(-6%)	
(EPS)	◆減少	- 4.78円		

## <株主還元>

- (配当) ◆中間42円(前年比:2円増配、2019/5業績予想比:変更なし)
- (自己株式取得) ◆60億円、1,270千株取得(2019年5月~7月)
- (自己株式消却) ◆2百万株消却(2019年5月、8月)

## <2019/5業績予想比>

(売上高)	◆下ぶれ	- 25 億円	(下ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (予想通り) 医薬
(営業利益)	◆上ぶれ	+ 2 億円	(上ぶれ) 機能性材料、農業化学 (予想通り) 医薬、卸売 (下ぶれ) 化学
(経常利益)	◆上ぶれ	+ 2 億円	
(特別損益)	◆上ぶれ	+ 9 億円	(特別利益) +17億円(有価証券売却益17億円・売却額29億円、 12銘柄(うち3銘柄保有全株数売却))
			(特別損失) -8億円(フルラネルに関するクロスライセンス契約に係わる当社負担金)
(純利益)	◆上ぶれ	+ 8 億円	
(EPS)	◆上ぶれ	+ 5.50円	

# 2019予想(3Q、4Q業績予想開示)

(億円)

	2018実績							2019予想 (2019/11発表)							2019予想 (2019/5発表)					
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	
売上高	509	471	980	439	630	1,069	2,049	487	478	965	425	700	1,125	過去最高	2,090	497	493	990	1,115	2,105
営業利益	107	87	194	44	133	177	371	93	87	180	26	180	206	過去最高	386	87	91	178	209	387
営業外損益	12	0	12	4	4	8	20	7	-1	6	3	2	5		11	11	-5	6	9	15
経常利益	119	87	206	48	137	185	391	100	86	186	29	182	211	過去最高	397	98	86	184	218	402
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0	0	0		9	0	0	0	0	0
純利益(1)	88	66	154	34	106	140	294	78	67	145	23	138	161	過去最高	306	72	65	137	165	302
EBITDA(2)	131	113	244	73	163	236	480	116	111	227	-	-	262		489	-	-	228	266	494
EPS(円/株)(3)	59.25	44.28	103.53	23.11	71.03	94.14	197.67	53.13	45.62	98.75	-	-	110.17		208.92	-	-	93.25	112.58	205.83
配当(円/株)	-	-	40	-	-	42	82	-	-	42	-	-	46		88	-	-	42	46	88
配当性向(%)	-	-	-	-	-	-	41.5	-	-	-	-	-	-		42.1	-	-	-	-	42.8
配当総額(3)	-	-	59	-	-	62	121	-	-	62	-	-	67		129	-	-	62	67	129
売上高営業利益率	21.0%	18.5%	19.8%	10.1%	21.1%	16.6%	18.1%	19.2%	18.2%	18.7%	6.1%	25.7%	18.3%		18.5%	17.5%	18.5%	18.0%	18.7%	18.4%
ROE(3)	-	-	-	-	-	-	16.6%	-	-	-	-	-	-		16.8%	-	-	-	-	16.3%
為替レート(円/ドル)	109	111	110	-	-	112	111	110	107	109	108	108	108			110	110	110	110	110
ナフサ(円/kl)	48,700	53,500	51,200	-	-	48,400	49,700	45,400	40,200	42,800	-	-	42,100			43,000	43,000	43,000	43,000	43,000

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 2019予想は、自己株取得100億円(2019年5月～7月取得完了60億円、2019年11月～取得予定40億円)の影響を含む

# 2019下予想

## <前年比>

(売上高)	◆増収	+ 56 億円	(+5%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学、医薬 (減収) 卸売
(営業利益)	◆増益	+ 29 億円	(+16%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売
(経常利益)	◆増益	+ 26 億円	(+14%)	
(純利益)	◆増益	+ 21 億円	(+15%)	
(EPS)	◆増加	+ 16.03円		

3Q (営業利益)	◆減益	- 18 億円	(-41%)
4Q (営業利益)	◆増益	+ 47 億円	(+35%)

## <2019/5業績予想比>

(売上高)	◆上ぶれ	+ 10 億円	(上ぶれ) 化学、農業化学 (予想通り) 医薬、卸売 (下ぶれ) 機能性材料
(営業利益)	◆下ぶれ	- 3 億円	(上ぶれ) 化学、農業化学、医薬、卸売 (下ぶれ) 機能性材料
(経常利益)	◆下ぶれ	- 7 億円	
(純利益)	◆下ぶれ	- 4 億円	
(EPS)	◆下ぶれ	- 2.41円	



# 2019年間予想

## <前年比>

(売上高) ◆増収	+ 41 億円	(+2%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学 (横ばい) 医薬 (減収) 卸売
(営業利益) ◆増益	+ 15 億円	(+4%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学、医薬、卸売
(経常利益) ◆増益	+ 6 億円	(+2%)	
(特別損益) ◆増益	+ 9 億円	(特別利益)	+17億円(有価証券売却益17億円・売却額29億円、 12銘柄(うち3銘柄保有全株数売却))
		(特別損失)	-8億円(フルラネルに関するクロスライセンス契約に係わる当社負担金)
(純利益) ◆増益	+ 12 億円	(+4%)	
(EPS) ◆増加	+ 11.25円		

## <2019/5業績予想比>

(売上高) ◆下ふれ	- 15 億円	(上ふれ) 農業化学 (予想通り) 医薬 (下ふれ) 化学、機能性材料、卸売
(営業利益) ◆下ふれ	- 1 億円	(上ふれ) 機能性材料、農業化学、医薬、卸売 (下ふれ) 化学
(経常利益) ◆下ふれ	- 5 億円	
(特別損益) ◆上ふれ	+ 9 億円	(特別利益) +17億円(有価証券売却益17億円・売却額29億円、 12銘柄(うち3銘柄保有全株数売却))
		(特別損失) -8億円(フルラネルに関するクロスライセンス契約に係わる当社負担金)
(純利益) ◆上ふれ	+ 4 億円	
(EPS) ◆上ふれ	+ 3.09円	

## <株主還元>

- (配当) ◆中間42円、期末46円(配当性向42.1%、前年比:中間2円増配、期末4円増配 2019/5業績予想比:変更なし)
- (自己株式取得) ◆100億円(60億円・1,270千株取得(2019年5月~7月)、40億円・1,300千株取得予定(2019年11月~2020年4月))  
(前年比:+10億円、2019/5業績予想比:+10億円)
- (自己株式消却) ◆2百万株消却(2019年5月、8月)
- (総還元性向) ◆74.6%(2019/5業績予想72.5%、2018年度実績72.0%)

# 営業外損益・特別損益

(億円)

	2018実績			2019予想 (2019/11発表)			増減			2019予想 (2019/5発表)		
	上	下	計	上実	下	計	上実	下	計	上	下	計
営業外収益	17.8	16.6	34.4	13.6	12.5	26.1	-4.2	-4.1	-8.3	14.9	12.6	27.5
受取利息・配当金	3.4	6.7	10.1	3.7	4.4	8.1	+0.3	-2.3	-2.0	3.5	4.6	8.1
持分法投資損益	4.1	5.6	9.7	4.0	6.0	10.0	-0.1	+0.4	+0.3	3.9	5.4	9.3
為替差益	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	-3.1	+0.0	-3.1	0.0	0.0	0.0
その他	7.2	4.3	11.5	5.9	2.1	8.0	-1.3	-2.2	-3.5	7.5	2.6	10.1
営業外費用	5.7	8.6	14.3	7.4	7.1	14.5	+1.7	-1.5	+0.2	8.7	4.3	13.0
支払利息	0.6	0.5	1.1	0.7	0.6	1.3	+0.1	+0.1	+0.2	1.0	0.7	1.7
固定資産処分損	3.2	3.1	6.3	2.0	4.1	6.1	-1.2	+1.0	-0.2	4.2	2.6	6.8
為替差損	0.0	3.3	3.3	2.2	0.0	2.2	+2.2	-3.3	-1.1	0.0	0.0	0.0
その他	1.9	1.7	3.6	2.5	2.4	4.9	+0.6	+0.7	+1.3	3.5	1.0	4.5
特別利益	0.0	0.0	0.0	16.9	0.0	16.9	+16.9	0.0	+16.9	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	+8.3	0.0	+8.3	0.0	0.0	0.0

# キャッシュフロー

(億円)

	2018上 実績	2019上 実績	2018年間 実績	2019年間予 (2019/11発表)	2019年間予 (2019/5発表)
営業キャッシュ・フロー	292	319	321	361	368
税金等調整前純利益	206	195	391	406	402
投資有価証券売却損益(－は益)	-3	-17	-3	-17	0
減価償却費	50	47	109	103	107
法人税等の支払	-52	-43	-94	-84	-90
運転資金増減他	91	137	-82	-47	-51
投資キャッシュ・フロー	-60	-24	-109	-89	-125
設備投資	-52	-42	-97	-105	-122
投資有価証券購入・売却	-5	29	-5	29	0
その他	-3	-11	-7	-13	-3
財務キャッシュ・フロー	-315	-334	-226	-253	-234
株主還元(配当・自己株取得)	-104	-122	-203	-224	-214
借入金増減額	-209	-203	-21	-20	-20
その他(※)	-2	-9	-2	-9	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	-4	-1	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-82	-43	-15	19	9
現金及び現金同等物の残高	295	319	362	381	371

(※) 2019上実績、2019年間予想(2019/11発表): 業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得-8、他-1

# 貸借対照表

(億円)

	2018/9	2019/3 (A)	2019/9 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,282	1,525	1,336	-189
現金預金	295	362	319	-43
売上債権	535	692	518	-174
たな卸資産	416	420	445	+25
その他	36	51	54	+3
固定資産	1,024	945	899	-46
有形固定資産	547	527	522	-5
無形固定資産	17	15	14	-1
投資有価証券*	406	352	304	-48
その他	54	51	59	+8
資産合計	2,306	2,470	2,235	-235

\*投資有価証券内訳

上場株式	312	256	208	-48
非上場株式	25	25	24	-1
関係会社株式	69	71	72	+1
合計	406	352	304	-48

	2018/9	2019/3 (A)	2019/9 (B)	増減 (B) - (A)
負債	481	649	435	-214
買入債務	166	178	158	-20
借入金	77	266	62	-204
その他	238	205	215	+10
純資産	1,825	1,821	1,800	-21
株主資本	1,654	1,695	1,710	+15
その他有価証券 評価差額金	145	106	81	-25
為替換算 調整勘定	5	0	-9	-9
非支配株主持分	17	17	16	-1
退職給付に係る 調整累計額	4	3	2	-1
負債・純資産 合計	2,306	2,470	2,235	-235

- ・自己資本比率 78.4% 73.0% 79.8%
  - ・D/Eレシオ(1) -13.1% -5.7% -15.0%
  - ・株主資本増減+15 = 純利益145 - 配当その他130
- (1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本



# 2019予想 セグメント別営業利益

(億円)

	2018実績							2019予想 (2019/11発表)							増減			2019予想 (2019/5発表)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	16	-4	12	10	8	18	30	9	-6	3	14	17	31	34	-9	+13	+4	14	-1	13	27	40
機能性	39	42	81	43	26	69	150	39	43	82	35	34	69	151	+1	+0	+1	36	38	74	76	150
農業化学	51	47	98	-13	99	86	184	45	49	94	-22	124	102	196	-4	+16	+12	36	56	92	98	190
医薬	3	3	6	4	0	4	10	4	1	5	2	4	6	11	-1	+2	+1	1	4	5	5	10
卸売	6	5	11	6	3	9	20	5	5	10	5	6	11	21	-1	+2	+1	6	4	10	10	20
その他	1	1	2	2	5	7	9	1	0	1	0	5	5	6	-1	-2	-3	0	0	0	6	6
調整額	-9	-7	-16	-8	-8	-16	-32	-10	-5	-15	-8	-10	-18	-33	+1	-2	-1	-6	-10	-16	-13	-29
合計	107	87	194	44	133	177	371	93	87	180	26	180	206	386	-14	+29	+15	87	91	178	209	387

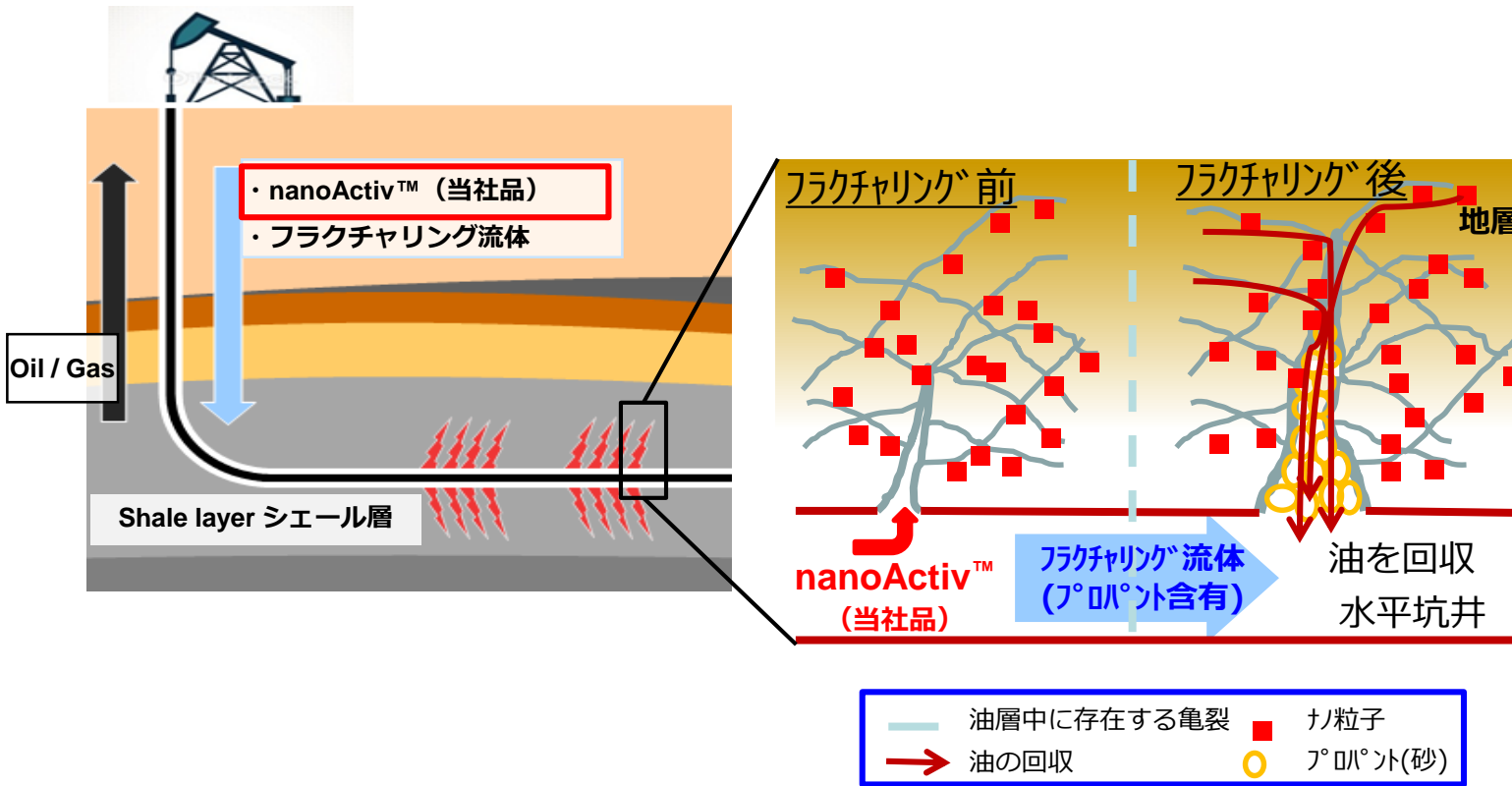
# 2019年度売上高予想(2019/5発表)にみる将来の成長エンジン

(1)サンプル出荷に伴う試験費控除も含む

2019年度 売上高規模(1)	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上	合計	
<b>化学品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テピック新製品(液状) (ファインケミカル)</li> <li>ビーナスオイルクリーン (ファインケミカル)</li> </ul>			<b>1億円</b>	
<b>機能性材料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイパーテック(高屈折率) (ディスプレイ)</li> <li>有機EL用ホール注入材 (ディスプレイ)</li> <li>位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ)</li> <li>CMOSイメージセンサー材料 (半導体)</li> <li>オルガノゾル(絶縁CTE) (無機)</li> <li>新規高屈(IM用フィルム) (無機)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調光フィルム材料 (ディスプレイ)</li> <li>撥液バンク材料 (ディスプレイ)</li> <li>モノマーゾル (3Dプリンティング) (無機)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三次元実装材料 (半導体)</li> <li>EUV下層膜 (半導体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オイル&amp;ガス材料 (無機)</li> </ul>	<b>31億円</b>
<b>農業化学品</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネクスター (導入剤)</li> <li>クラール (自社開発)</li> <li>アレイル (自社開発)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランスフォーム™/エクシード™/ ビレスコ™ (導入剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グレーシア (自社開発)</li> <li>ラウンドアップAL II/III (自社開発)</li> </ul>	<b>56億円</b>	
<b>医薬品 ・その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規ジェネリック (ファインテック)</li> <li>細胞培養培地材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エルデカルシトール (ファインテック)</li> </ul>		<b>6億円</b>	

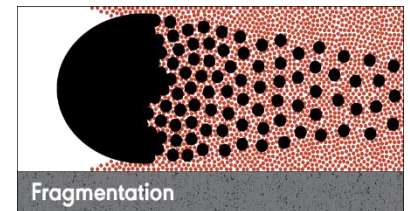
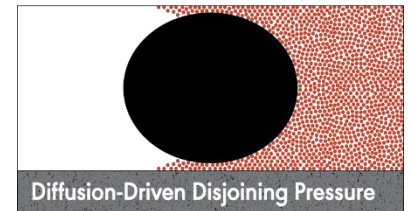
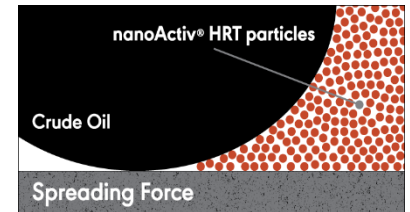
合計 **94億円**

# オイル&ガス材料



Brownian Motion/Diffusion  
⇒ Spreading Force

Wasan & Nikolov, *Nature*, Vol. 423, 2003.



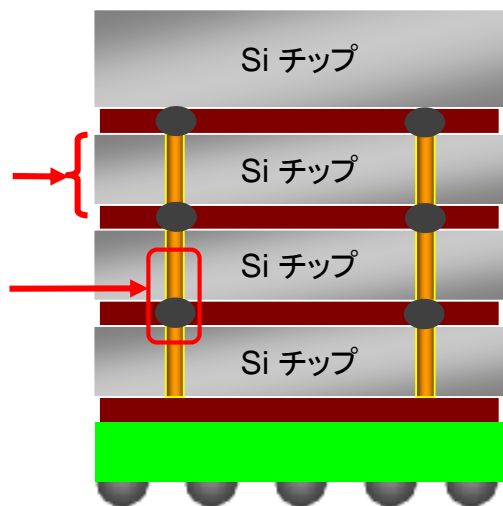


# 三次元実装材料

## TSV加工の課題

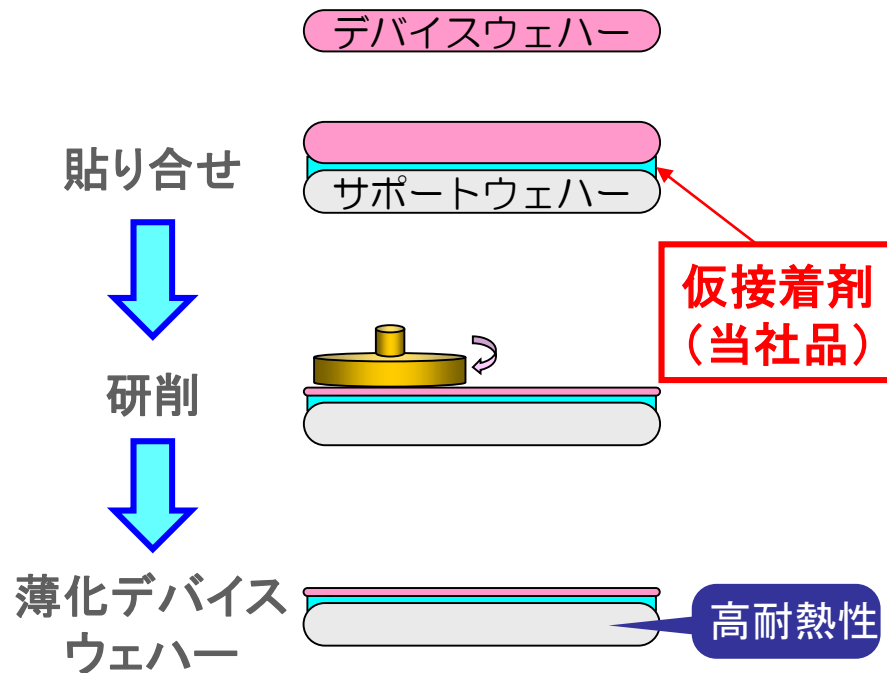
- 基板の薄化 (< 50um)

- TSV形成に高温プロセス



高温プロセスに対応した  
薄化ウェハー取扱い技術が必要  
⇒ 仮接着システム

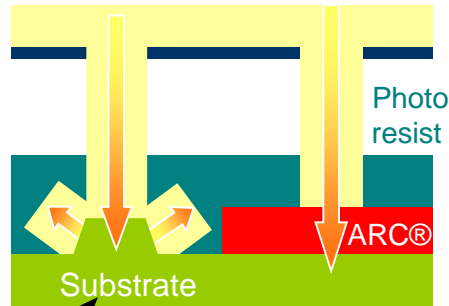
## 仮接着システム使用



高温プロセス 対応可

# EUV下層膜

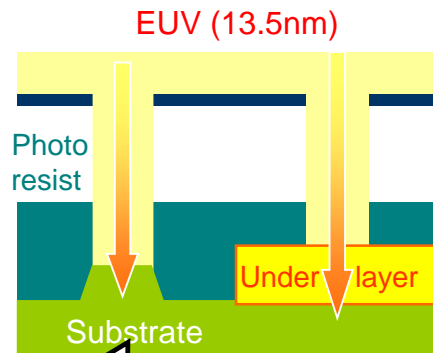
従来のリソグラフィー



基板からの反射

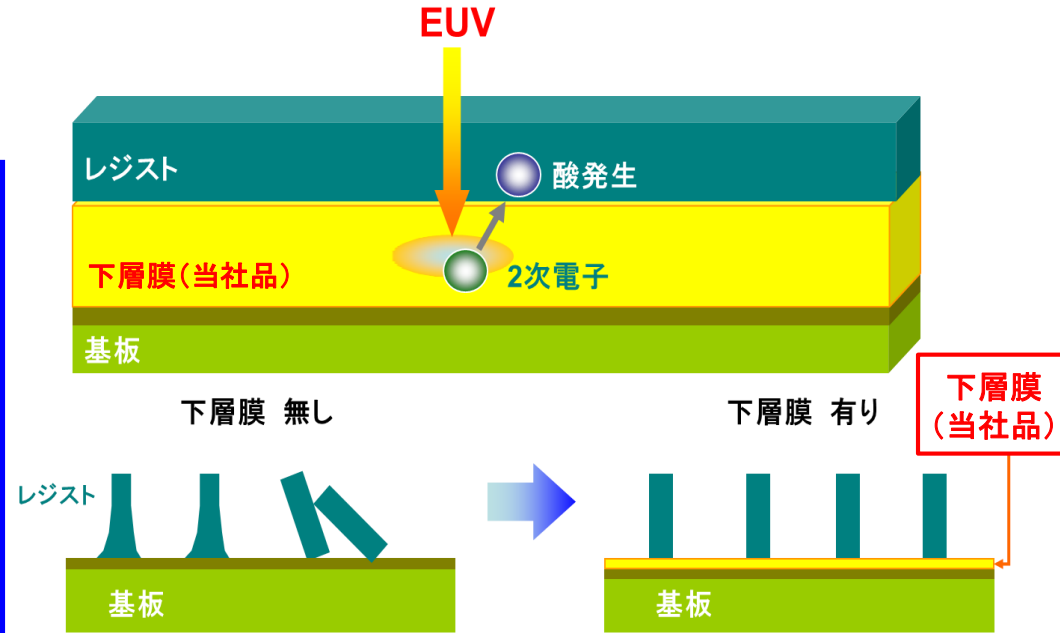
基板界面で光が反射し、  
ARC®のような  
反射防止膜が必要

EUVリソグラフィー



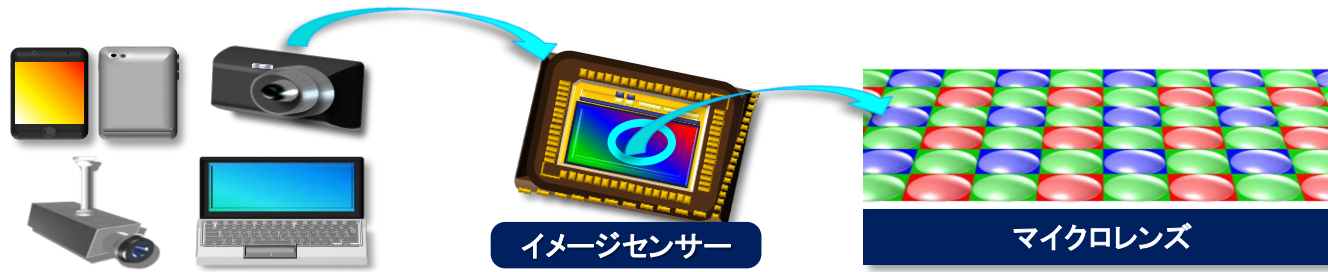
EUV光は基板を透過

EUVは界面反射なし(透過)  
反射防止機能は不要

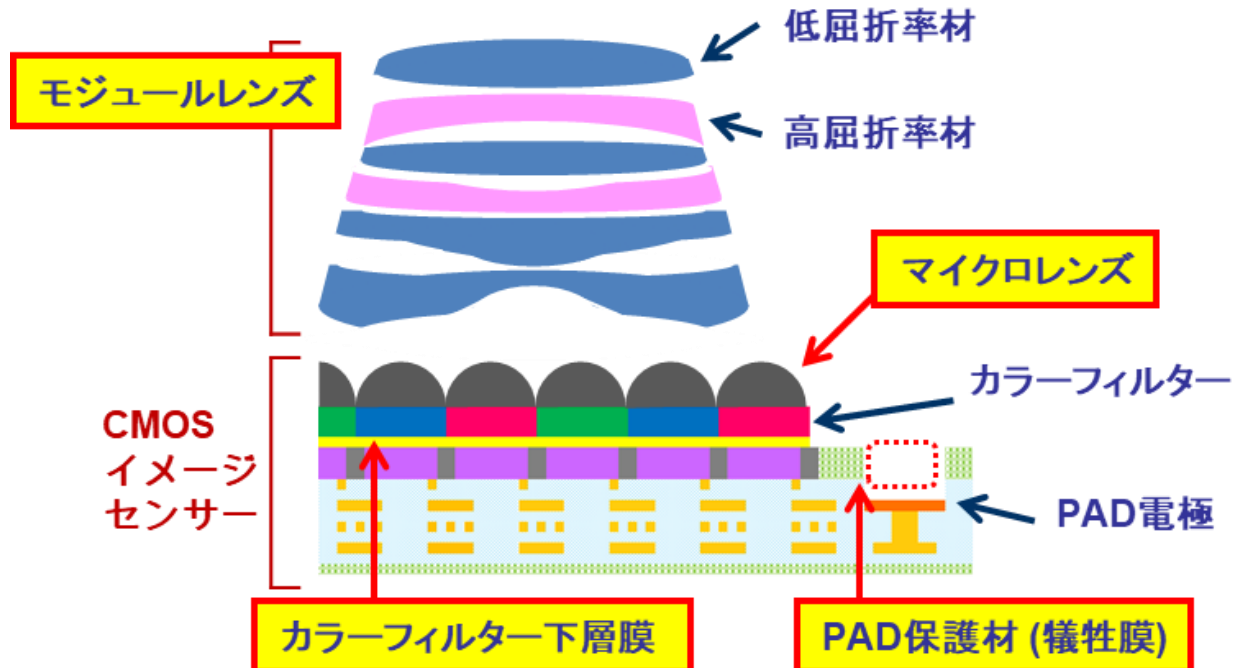


超微細パターン(<20nm)のため、  
容易に基板の影響を受けて形状悪化、  
倒れが発生

# CMOSイメージセンサー材料

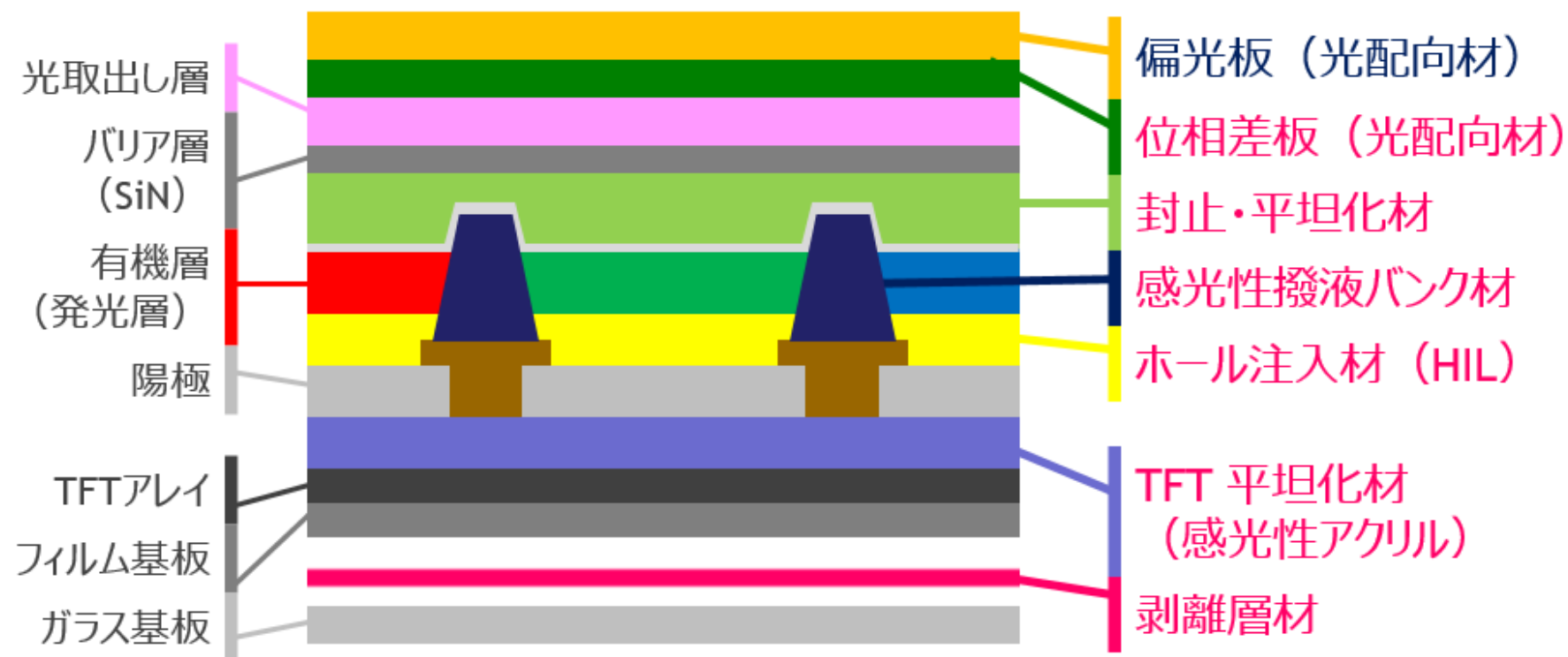


当社材料



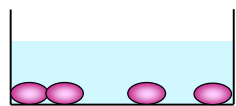
# 有機EL関連材料

当社検討材料



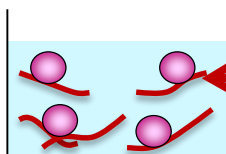
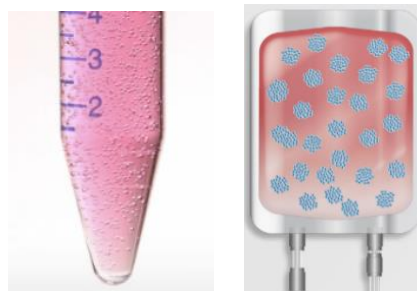
# 細胞培養培地材料

## Conventional 2D method



## New 3D method

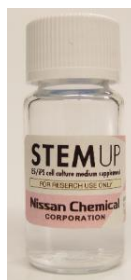
### 細胞の大量培養を実現



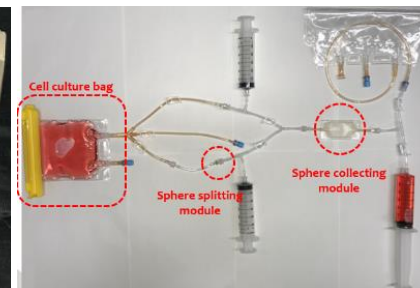
当社材料

- ・iPS/ES細胞や間葉系幹細胞などを大量培養する際に使う添加剤
- ・当社材を加えることで、細胞を均一に分散・浮遊させられる

### 培養サプリメント



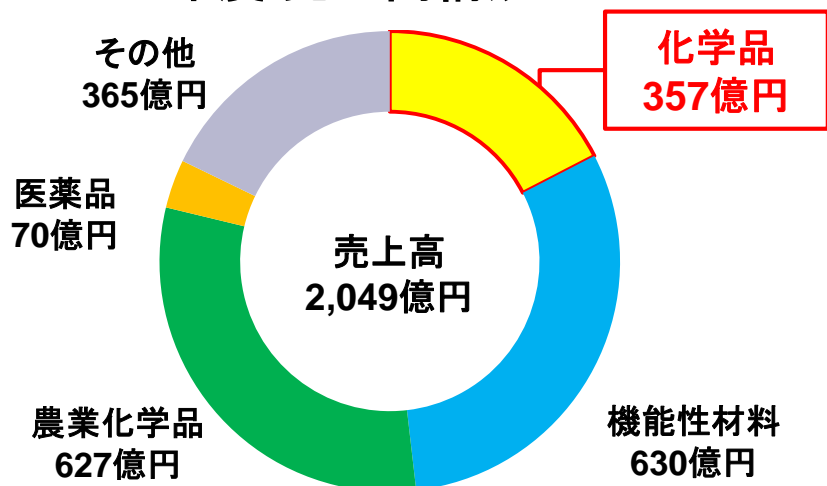
### 培養システム



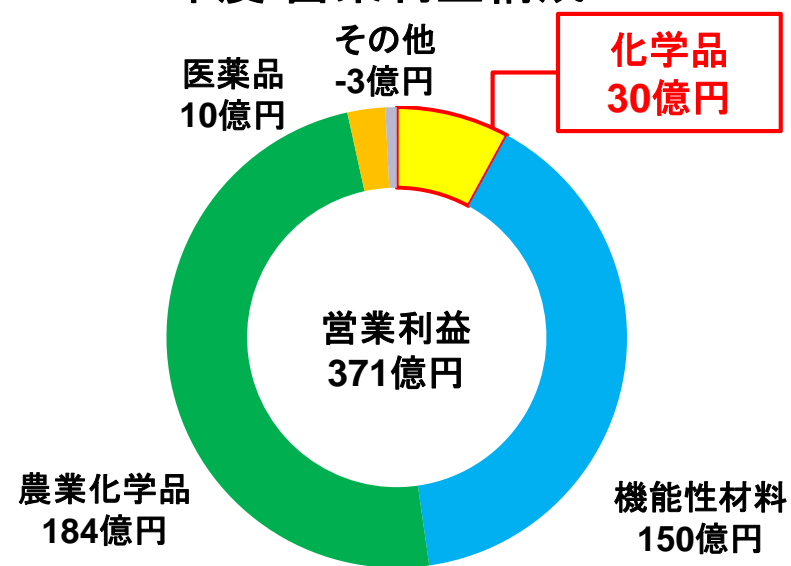
(白紙)

# 化学品セグメント概況- (A) 業績

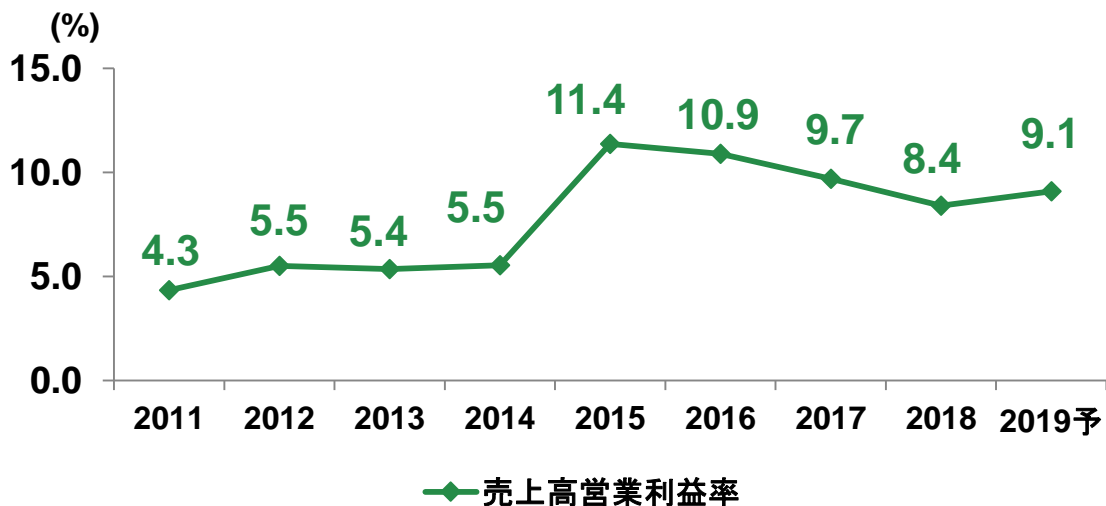
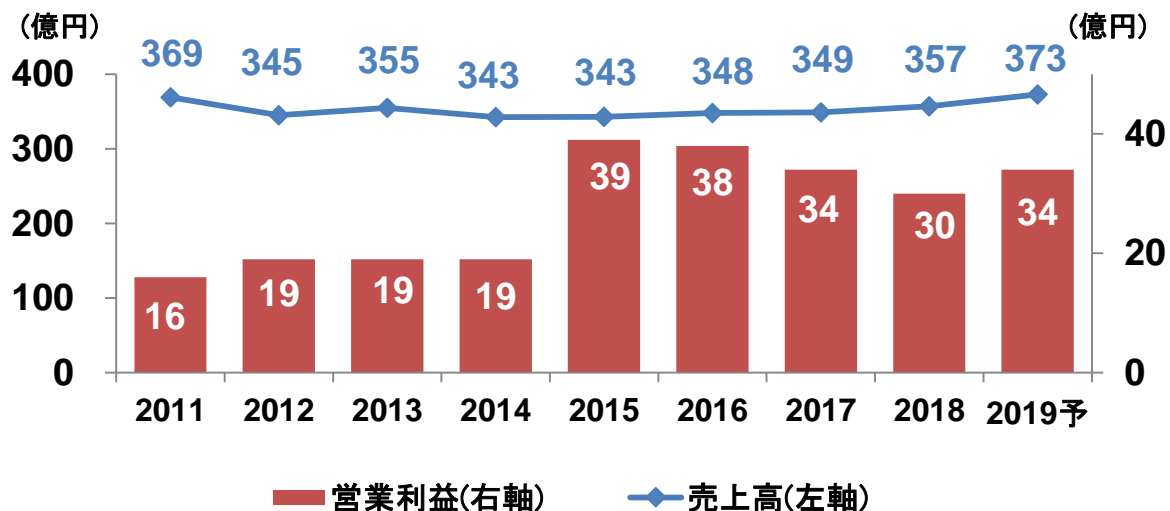
## 1. 2018年度 売上高構成



## 2. 2018年度 営業利益構成



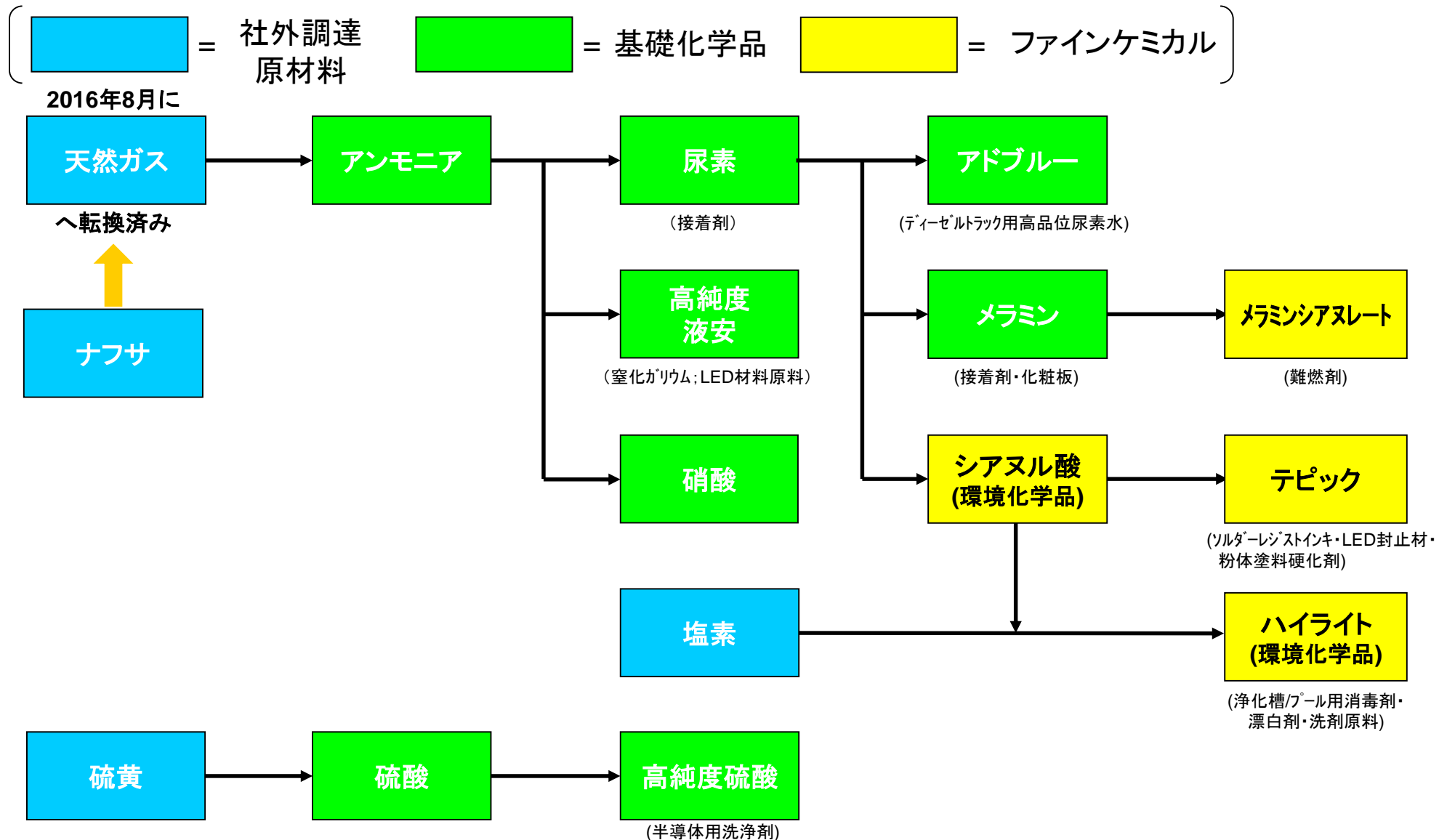
## 3. 化学品業績推移



# 化学品セグメント概況－(B) 主要製品製造フロー

◆基礎化学品主要製品：アンモニア系製品と硫酸系製品

◆2018年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上





# 化学品セグメント概況－(C) ファインケミカル

## 2019上期売上高実績

<前年同期比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け輸出増収(数量増、価格下落)、電材向け減収  
国内増収、輸出増収

<2019/5業績予想比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け輸出下ぶれ(数量予想通り、価格下ぶれ)、電材向け下ぶれ(数量下ぶれ)  
国内下ぶれ、輸出下ぶれ

## 2019下期売上高予想

<前年同期比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け輸出増収(数量増、価格下落)、電材向け増収(新規取引先獲得)  
国内増収、輸出増収

<2019/5業績予想比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け輸出予想通り(数量上ぶれ、価格下ぶれ)、電材向け予想通り  
国内、輸出予想通り

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2018実績			2019予想 (2019/5 発表)			2019予想 (2019/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
合計		-3%	-1%	-2%	+14%	+14%	+14%	+3%	+14%	+8%
テピック	◆(用途) 電材向け(ソルダ・レジストインキ、LED封止材) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	-6%	-5%	-6%	+21%	+17%	+19%	+5%	+17%	+12%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	+8%	+6%	+7%	+6%	+7%	+6%	+2%	+7%	+4%

上記2製品グループの2018年度実績連結ファインケミカル売上高に占める割合: 82%

◆ 2018年 テピック電材向け能力増強(投資額5億円、2019年8月完工)

# 化学品セグメント概況－(D) 基礎化学品

## 2019上期売上高実績

<前年同期比>

- ◆メラミン 国内減収(数量減、価格下落)、輸出増収(数量増、価格下落)  
(18年上期はプラントトラブル影響あり(1))
- ◆尿素・アドブルー 尿素横ばい、アドブルー増収
- ◆高純度硫酸 半導体向け減収

<2019/5業績予想比>

- ◆メラミン 国内下ぶれ、輸出下ぶれ、内外ともに数量、価格下ぶれ  
(世界的な需要下ぶれ、安値中国品影響)
- ◆尿素・アドブルー 尿素予想通り、アドブルー予想通り
- ◆高純度硫酸 半導体向け下ぶれ

## 2019下期売上高予想

<前年同期比>

- ◆メラミン 国内減収(数量減、価格下落)、輸出増収(数量増、価格上昇、需給バランス改善・市況改善)
- ◆尿素・アドブルー 尿素減収、アドブルー増収
- ◆高純度硫酸 半導体向け増収(取引先新設備稼働アップ)

<2019/5業績予想比>

- ◆メラミン 国内下ぶれ(数量下ぶれ、価格下ぶれ)、輸出上ぶれ(数量上ぶれ、価格上ぶれ)
- ◆尿素・アドブルー 尿素上ぶれ、アドブルー上ぶれ
- ◆高純度硫酸 半導体向け予想通り

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2018実績			2019予想 (2019/5 発表)			2019予想 (2019/11 発表)		
		上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
合計		+4%	+4%	+4%	+10%	+5%	+7%	-2%	+8%	+3%
メラミン	◆(用途)接着剤、化粧板	+27%	+6%	+15%	+22%	+12%	+16%	-0%	+14%	+7%
尿素 アドブルー	◆(用途)接着剤、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	-3%	+1%	-1%	+7%	+1%	+4%	+7%	+5%	+6%
高純度 硫酸	◆(用途)半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	-4%	-4%	-4%	+3%	+17%	+10%	-2%	+18%	+8%

上記3製品グループの2018年度実績連結基礎化学品売上高に占める割合: 39%

(1) 2018年上期アンモニアトラブル数回(完全復旧済) (損失試算) 上期 3.8億円

# 化学セグメント概況 – (E-1)セグメント収益動向

(億円)

	2018実績(A)							2019予想 (2019/5発表)					2019予想(B) (2019/11発表)						増減 (B)-(A)			
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	87	83	170	96	91	187	357	94	95	189	201	390	84	84	168	100	105	205	373	-2	+18	+16
ファイン	27	24	51	26	27	53	104	29	30	59	60	119	26	26	52	29	32	61	113	+1	+8	+9
基礎	60	59	119	70	64	134	253	65	65	130	141	271	58	58	116	71	73	144	260	-3	+10	+7
営業利益	16	-4	12	10	8	18	30	14	-1	13	27	40	9	-6	3	14	17	31	34	-9	+13	+4

## 2019 1Q実績

### <前年同期比>

- (ファイン) ◆ テピック一般増収・電材減収、環境減収  
◆ 在庫変動影響(マイナス要因)  
◆ 売上高減少、営業利益減少
- (基礎) ◆ メラミン減収(中国品輸出急増、市況下落)、  
    尿素・アドブルー増収、高純度硫酸減収  
◆ 固定費増加、在庫変動影響(マイナス影響)  
◆ 売上高減少、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高-3億円、営業利益-7億円

### <2019/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高:テピック一般上ぶれ・電材下ぶれ、環境下ぶれ  
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高:メラミン下ぶれ(中国品輸出急増、市況下落)、  
    高純度硫酸下ぶれ、尿素・アドブルー予想通り  
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高-10億円、営業利益-5億円

## 2019 2Q実績

### <前年同期比>

- (ファイン) ◆ テピック増収(一般増収、電材横ばい)、環境増収  
◆ 売上高増加、営業利益横ばい
- (基礎) ◆ メラミン横ばい(国内減収、輸出増収)、尿素・アドブルー増収、  
    高純度硫酸横ばい、その他製品減収  
◆ 売上高減少、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高+1億円、営業利益-2億円

### <2019/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高:テピック下ぶれ(一般・電材下ぶれ)、環境上ぶれ  
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高:メラミン下ぶれ(国内・輸出下ぶれ)、  
    尿素・アドブルー予想通り、高純度硫酸予想通り  
◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高-11億円、営業利益-5億円

# 化学セグメント概況 – (E-2)セグメント収益動向

## 2019上実績

### <前年同期比>

- (ファイン) ◆ テピック増収(一般増収・電材減収)、環境増収
- ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- ◆ 売上高増加、営業利益減少
- (基礎) ◆ メラミン横ばい(国内減収・輸出増収)、  
尿素・アドブルー増収、高純度硫酸減収
- ◆ 18年ア系プラントトラブル(p26参照)
- ◆ 売上高減少、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高-2億円、営業利益-9億円

### < 2019/5業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高:テピック下ぶれ(一般・電材下ぶれ)、環境下ぶれ
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高:メラミン下ぶれ(国内・輸出下ぶれ)、  
尿素・アドブルー予想通り、高純度硫酸下ぶれ
- ◆ 売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高-21億円、営業利益-10億円

## 2019下予想

### <前年同期比>

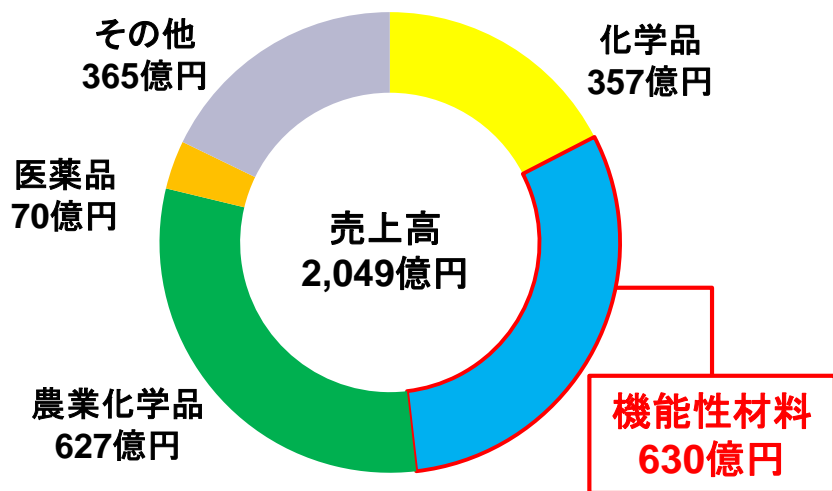
- (ファイン) ◆ テピック増収(一般・電材増収、新規取引先獲得)、  
環境増収(輸出拡販)
- ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ メラミン増収(国内減収、輸出増収(需給バランス・市況改善))、  
尿素・アドブルー増収、  
高純度硫酸増収(取引先新設備稼働アップ)
- ◆ 原燃料等コスト安
- ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- ◆ 売上高増加、営業利益増加
- (セグメント) ◆ 売上高+18億円、営業利益+13億円

### < 2019/5業績予想比>

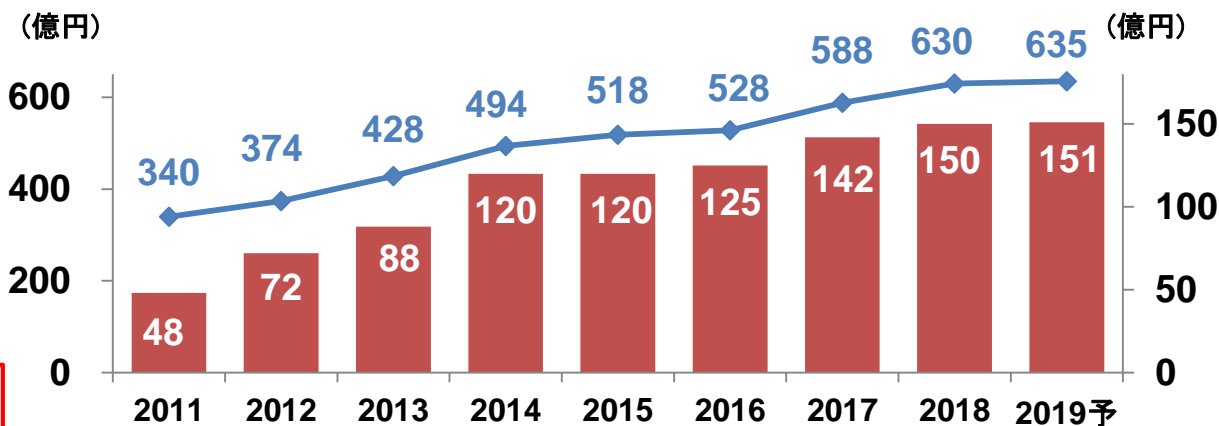
- (ファイン) ◆ 売上高:テピック予想通り(一般・電材予想通り)、環境予想通り
- ◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
- ◆ 売上高予想通り、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高:メラミン上ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)、  
尿素・アドブルー上ぶれ、高純度硫酸予想通り
- ◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高+4億円、営業利益+4億円

# 機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

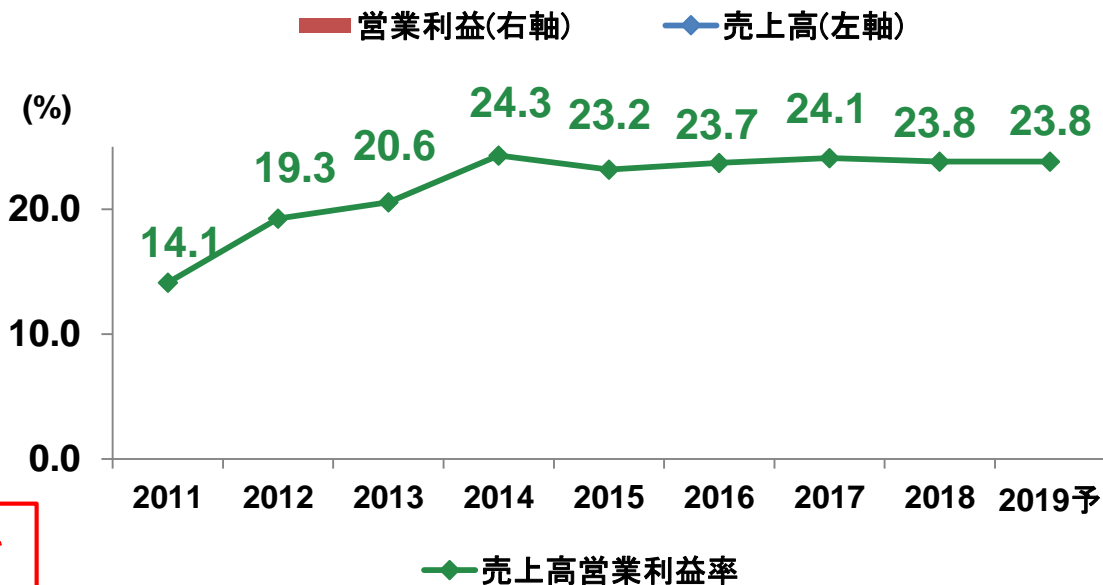
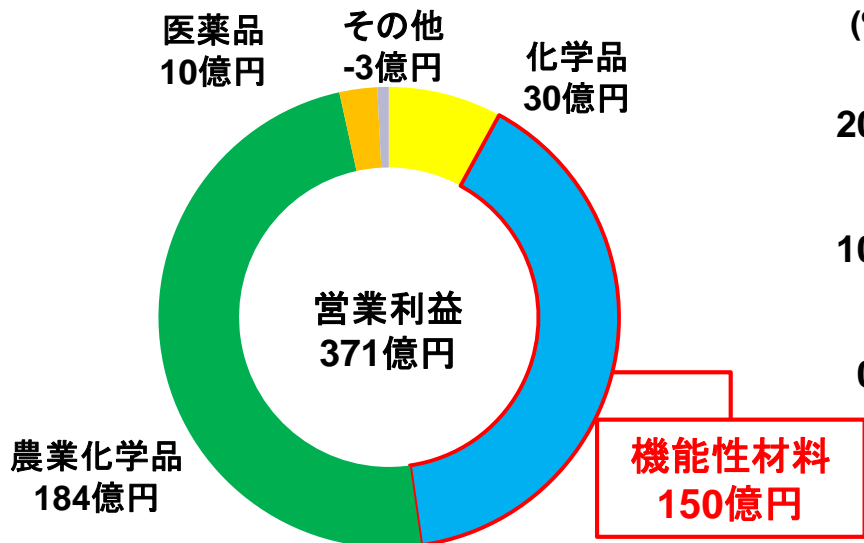
## 1. 2018年度 売上高構成



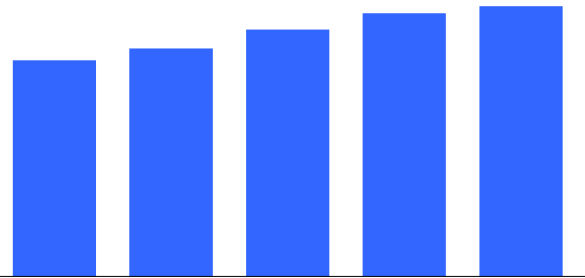
## 3. 機能性材料業績推移



## 2. 2018年度 営業利益構成



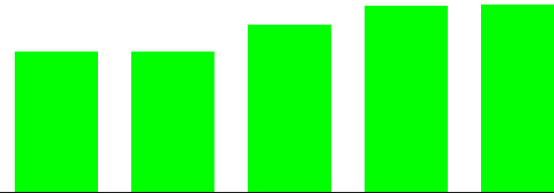
# 機能性材料セグメント概況 – (B) 2015-2019年度 売上高構成推移



2015 2016 2017 2018 2019予

## < ディ스플레이材料 >

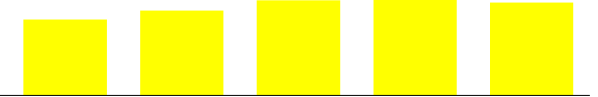
サンエバー：液晶配向材用ポリイミド



2015 2016 2017 2018 2019予

## < 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材  
 多層材料：半導体用多層プロセス材料  
 (OptiStack®)



2015 2016 2017 2018 2019予

## < 無機コロイド \* >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、  
 化合物半導体、半導体CMP等)  
 脱硝触媒、特殊鋼板

オルガノゾル・  
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、  
 樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス探掘効率向上材

\*2015：単体ベース

# 機能性材料セグメント概況 – (C-1) ディ스플레이材料

## 2019上期売上高実績

<前年同期比>

サンエバー増収+3%

IPS増収(光増収、ラビング減収(台湾CPT民事再生法申請影響))、VA増収、TN減収

<2019/5業績予想比>

サンエバー上ぶれ

IPS上ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA上ぶれ、TN予想通り

## 2019下期売上高予想

<前年同期比>

サンエバー増収+2%

IPS増収(光増収、ラビング減収(台湾CPT民事再生法申請影響))、VA増収、TN減収

<2019/5業績予想比>

サンエバー予想通り

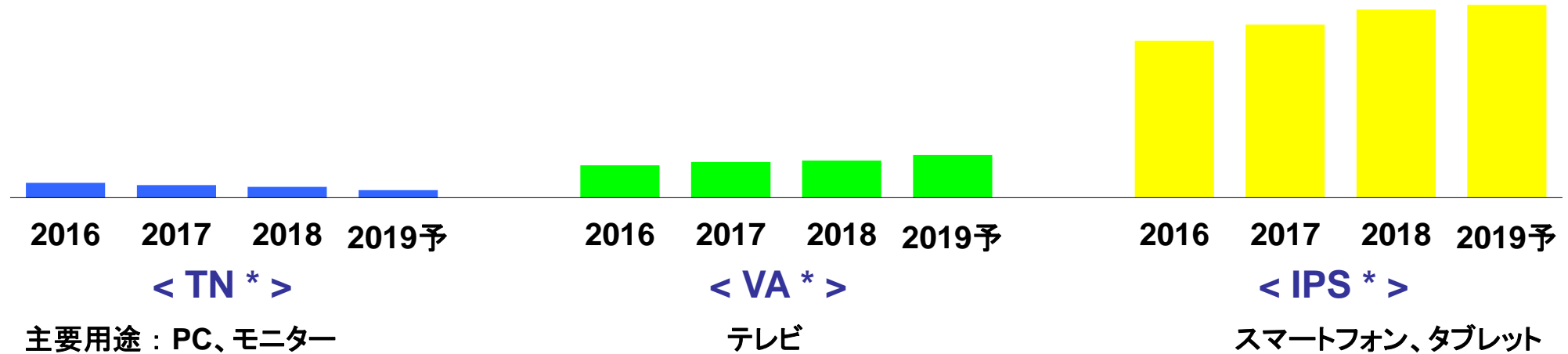
IPS上ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA予想通り、TN下ぶれ

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2018実績			2019予想 (2019/5 発表)			2019予想 (2019/11 発表)		
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
サンエバー	+8%	+5%	+7%	-3%	+2%	-0%	+3%	+2%	+3%
ディスプレイ材料合計	+8%	+5%	+7%	-3%	+4%	+0%	+3%	+2%	+3%

◆ 2017年7月 中国蘇州に現地法人(NSU)設立(技術支援、顧客サービス強化、製品開発)

# 機能性材料セグメント概況 – (C-2) サンエバー

## <モード別売上高推移>



## <モード別前年同期比連結売上高成長率>

	2018実績			2019予想 (2019/5発表)			2019予想 (2019/11発表)			前年同期比売上高増減
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計	
TN	↗	↘↘↘	↘↘	↘↘↘↘	↘↘	↘↘↘	↘↘↘↘	↘↘↘	↘↘↘	+20~+29% ↗↗↗
VA	↗	↗	↗	↗↗	↗	↗↗	↗↗↗	↗	↗↗	+10~+19% ↗↗
IPS	↗↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	+0~+9% ↗
合計	+8%	+5%	+7%	-3%	+2%	-0%	+3%	+2%	+3%	-10~-19% ↘↘
										-20~-29% ↘↘↘
										-30~-39% ↘↘↘↘

\*TN : Twisted Nematic, VA : Vertical Alignment, IPS : In-Plane Switching



# 機能性材料セグメント概況 - (D) 半導体材料

## 2019上期売上高実績

<前年同期比>	半導体材料合計減収-4%	KrF・ArF減収、その他半導体材料減収(多層材料減収、EUV下層膜増収、CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材減収)
<2019/5業績予想比>	半導体材料合計下ぶれ	KrF上ぶれ、ArF下ぶれ、その他半導体材料下ぶれ(多層材料下ぶれ、EUV下層膜・CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材下ぶれ)

## 2019下期売上高予想

<前年同期比>	半導体材料合計増収+6%	KrF減収、ArF横ばい、その他半導体材料増収(多層材料増収、EUV下層膜減収、CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材増収)
<2019/5業績予想比>	半導体材料合計上ぶれ	KrF予想通り、ArF下ぶれ、その他半導体材料上ぶれ(多層材料上ぶれ、EUV下層膜予想通り、CMOSイメージセンサー材料・三次元実装材下ぶれ)

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2018実績			2019予想 (2019/5 発表)			2019予想 (2019/11 発表)		
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
KrF (ARC®)	-1%	-9%	-5%	-9%	-2%	-5%	-5%	-2%	-3%
ArF (ARC®)	+14%	+6%	+10%	-1%	+5%	+2%	-3%	-0%	-2%
小計	+9%	+2%	+6%	-3%	+3%	-0%	-3%	-1%	-2%
その他半導体材料 計(1)	+43%	+20%	+31%	+8%	+13%	+11%	-8%	+26%	+9%
半導体材料合計	+17%	+6%	+11%	-0%	+5%	+3%	-4%	+6%	+1%

(1) 多層材料(OptiStack®)、EUV下層膜、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

◆ 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資 \*NCK:連結子会社(韓国)、DP:半導体材料のR&D・製造・販売

- 主要投資(承認ベース):
- 14年 評価機器11億円
  - 15年 開発設備28億円・評価機器8億円、増強8億円、NCK\*7億円、半導体材料研5億円
  - 16年 NCK\*26億円、評価機器10億円、半導体材料研4億円
  - 17年 半導体材料研4億円
  - 18年 ARC®増強2億円、製造試験設備2億円
  - 19年 半導体分析新棟20億円

# 機能性材料セグメント概況 -

## (E) スノーテックス、オルガノゾル・モノマーゾル、オイル&ガス材料

### 2019上期売上高実績

<前年同期比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル
- ◆オイル&ガス材料

減収(研磨材減収、一般用途増収)

減収

減収

<2019/5業績予想比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル
- ◆オイル&ガス材料

下ぶれ(研磨材下ぶれ、一般用途予想通り)

下ぶれ

下ぶれ

### 2019下期売上高予想

<前年同期比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル
- ◆オイル&ガス材料

減収(研磨材減収、一般用途横ばい)

増収

増収

<2019/5業績予想比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル・モノマーゾル
- ◆オイル&ガス材料

下ぶれ(研磨材下ぶれ、一般用途予想通り)

下ぶれ

下ぶれ

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2018実績			2019予想 (2019/5 発表)			2019予想 (2019/11 発表)		
	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
スノーテックス	+2%	-1%	+1%	+3%	+0%	+2%	-2%	-4%	-3%
オルガノゾル・モノマーゾル	-8%	+8%	-1%	+3%	+7%	+5%	-11%	+6%	-3%
オイル&ガス材料	+40%	-39%	-3%	+40%	+196%	+95%	-64%	+63%	-19%

上記3製品グループの2018年度連結無機売上高に占める割合: 80%

無機コロイド合計	+8%	-1%	+3%	+3%	+8%	+5%	-11%	+0%	-6%
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----

# 機能性材料セグメント概況 – (F-1) セグメント収益動向

(億円)

	2018実績(A)							2019予想 (2019/5発表)					2019予想(B) (2019/11発表)					増減 (B)-(A)				
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	156	164	320	166	144	310	630	159	158	317	326	643	151	163	314	162	159	321	635	-6	+11	+5
営業利益	39	42	81	43	26	69	150	36	38	74	76	150	39	43	82	35	34	69	151	+1	+0	+1

半導体その他新材料: EUV下層膜、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

## 2019 1Q実績

<前年同期比>

- ◆ サンエバー増収(IPS横ばい(光増収、ラビング減収)、VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料減収(KrF・ArF減収、その他減収(多層減収、その他新材料増収))
- ◆ 無機減収(スノーテックス減収、オルガノゾル・モノマーゾル減収、オイル&ガス材料減収)
- ◆ 固定費減少2億円
- ◆ 売上高-5億円、営業利益横ばい(DP増益、半導体減益、無機減益)

< 2019/5業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高予想通り(IPS下ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA上ぶれ、TN下ぶれ)
- ◆ 半導体材料売上高下ぶれ(KrF予想通り、ArF・その他下ぶれ(多層・その他新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ7億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-8億円、営業利益+3億円(DP利益上ぶれ、半導体利益予想通り、無機利益上ぶれ)

## 2019 2Q実績

<前年同期比>

- ◆ サンエバー増収(IPS増収(光増収、ラビング減収)、VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体減収(KrF横ばい、ArF増収、その他減収(多層・その他新材料減収))
- ◆ 無機減収(スノーテックス横ばい、オルガノゾル・モノマーゾル減収、オイル&ガス材料減収)
- ◆ 固定費減少3億円
- ◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-1億円、営業利益+1億円(DP増益、半導体増益、無機減益)

< 2019/5業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ(IPS上ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA・TN上ぶれ)
- ◆ 半導体売上高下ぶれ(ArF・KrF上ぶれ、その他下ぶれ(多層下ぶれ、その他新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ6億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+5億円、営業利益+5億円(DP利益上ぶれ、半導体利益上ぶれ、無機利益下ぶれ)

# 機能性材料セグメント概況 – (F-2) セグメント収益動向

半導体その他新材料: EUV下層膜、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

## 2019上実績

### <前年同期比>

- ◆ サンエバー増収(IPS増収(光増収、ラビング減収)、VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体減収(KrF減収、ArF減収、その他減収(多層・その他新材料減収))
- ◆ 無機減収(スノーテックス減収、オルガノゾル・モノマーゾル減収、オイル&ガス材料減収)
- ◆ 固定費減少4億円
- ◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-6億円、営業利益+1億円  
(DP増益、半導体横ばい、無機減益)

### < 2019/5業績予想比>

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ(IPS上ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA上ぶれ、TN予想通り)
- ◆ 半導体売上高下ぶれ(KrF上ぶれ、ArF下ぶれ、その他下ぶれ(多層・その他新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費下ぶれ12億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-3億円、営業利益+8億円  
(DP利益上ぶれ、半導体利益上ぶれ、無機利益下ぶれ)

## 2019下予想

### <前年同期比>

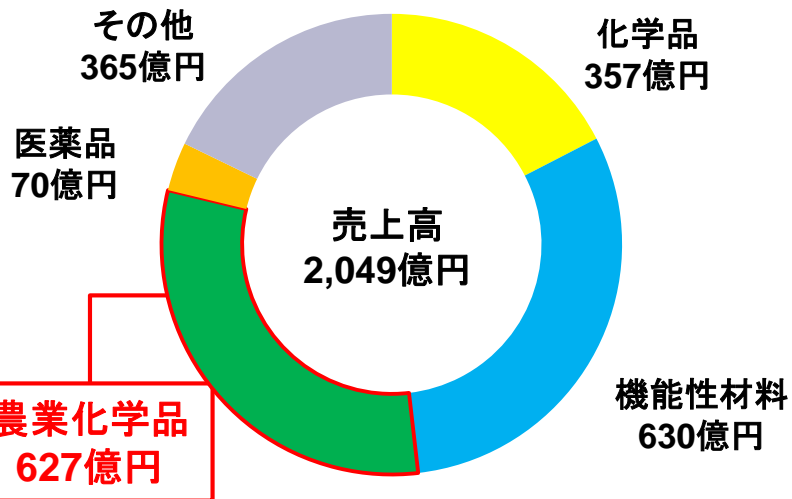
- ◆ サンエバー増収(IPS増収(光増収、ラビング減収)、VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体増収(KrF減収、ArF横ばい、その他増収(多層・その他新材料増収))
- ◆ 無機横ばい(スノーテックス減収、オルガノゾル・モノマーゾル増収、オイル&ガス材料増収)
- ◆ 固定費増加4億円
- ◆ 売上高+11億円、営業利益横ばい  
(DP増益、半導体増益、無機減益)

### < 2019/5業績予想比>

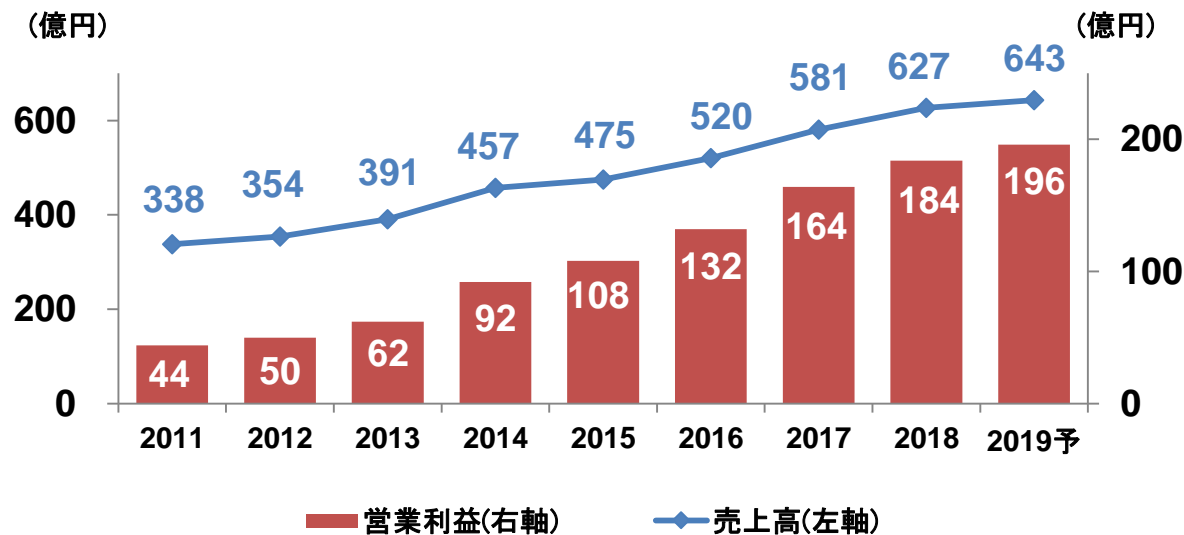
- ◆ サンエバー売上高予想通り(IPS上ぶれ(光上ぶれ、ラビング下ぶれ)、VA予想通り、TN下ぶれ)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ(KrF予想通り、ArF下ぶれ、その他上ぶれ(多層上ぶれ、その他新材料下ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ(スノーテックス下ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-5億円、営業利益-7億円  
(DP利益予想通り、半導体利益下ぶれ、無機利益下ぶれ)

# 農業化学品セグメント概況- (A) 業績

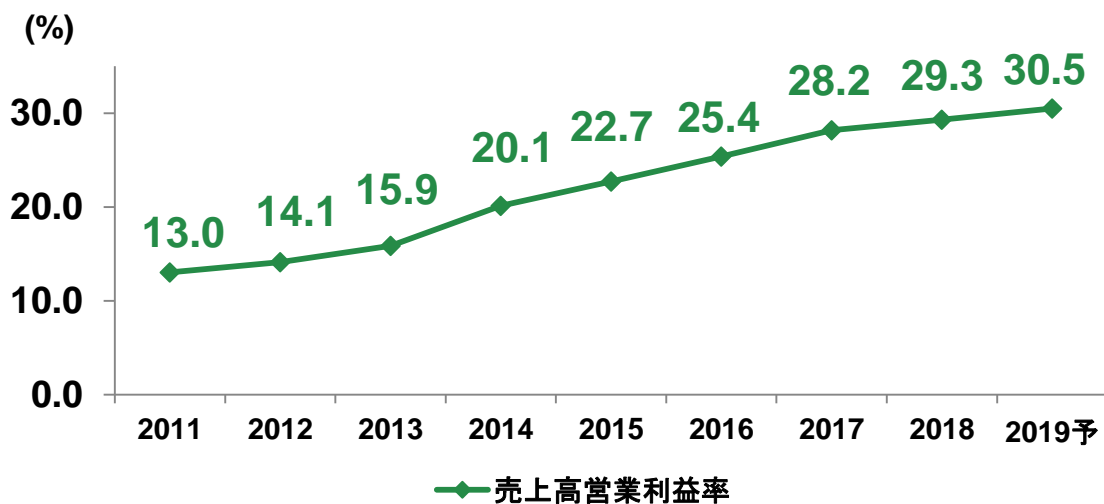
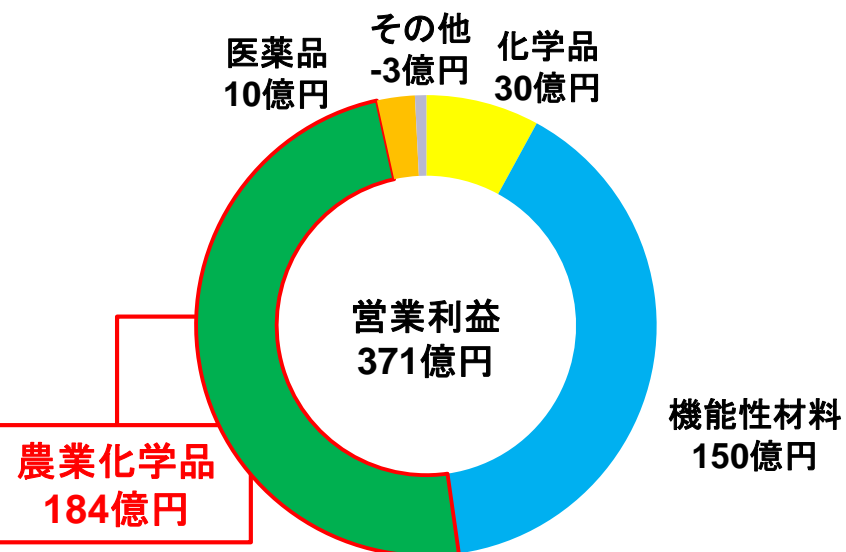
## 1. 2018年度 売上高構成



## 3. 農業化学品業績推移



## 2. 2018年度 営業利益構成



# 農業化学品セグメント概況- (B) 売上高成長率(値引前)

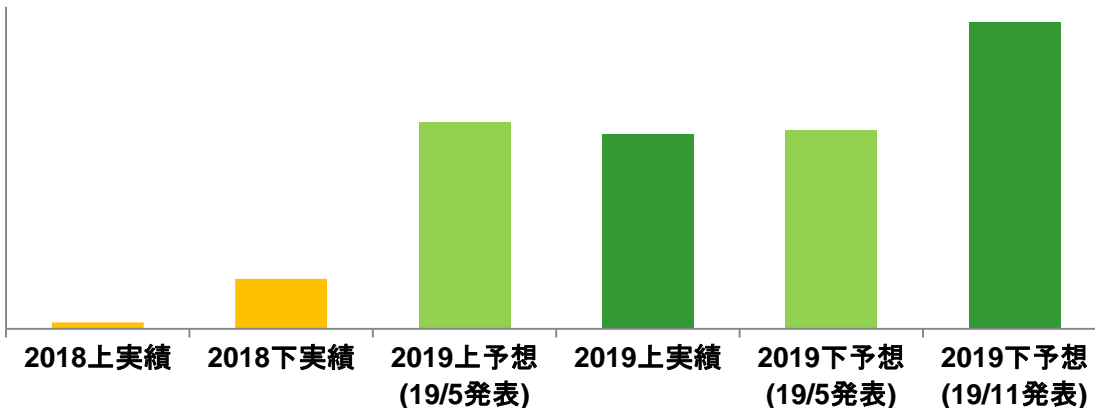
		前年同期比 連結売上高成長率		
主要製品名 (2018年 売上高順)	種類	2018実績	2019予想 (2019/5発表)	2019予想 (2019/11発表)
フルララネル	動物薬	↗↗↗	↘	↘
ラウンドアップ(1)	除草	-6%	+8%	+5%
アルテア	除草	↗↗	↘	↗
タルガ	除草	↗↗	↘	↘↘
パーミット	除草	↗	↗↗	↗↗
グレーシア	殺虫	-	+600%以上	+700%以上
農業化学品 セグメント合計	-	+7%	+3%	+4%

前年同期比売上高増減

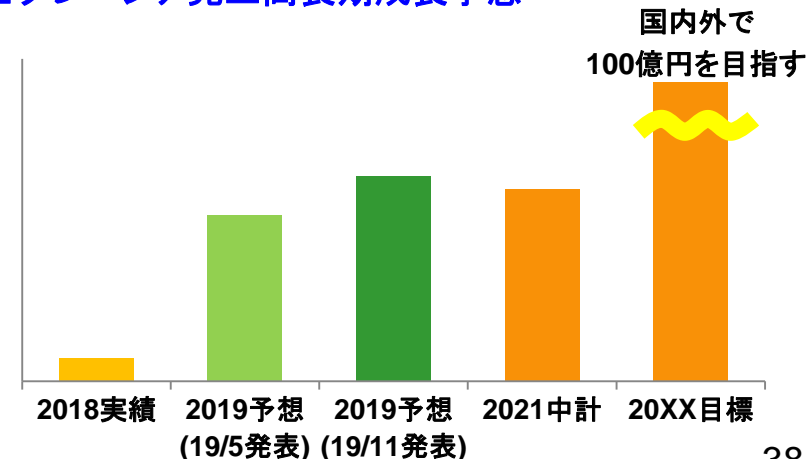
+20~+29%	↗↗↗
+10~+19%	↗↗
+0~+9%	↗
-0~-9%	↘
-10~-19%	↘↘

(1) ラウンドアップマックスロードALは2018年度ラウンドアップ売上高全体の19%を占める

■ グレーシア売上高2018実績、2019予想



■ グレーシア売上高長期成長予想



# 農業化学品セグメント概況- (C) 主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2009	プレバソン	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤 2016年ALⅡ、2018年ALⅢ上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けに出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	フルララネルを原薬とし、米国MSD社が4月欧州、6月米国で上市
2015	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	7月インターペット社(MSD社の日本法人)が日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジェンタ社より導入
2017	トランスフォーム™/エクシード™/ ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2017	エグゾルト**	家畜動物用医薬品	-	9月米国MSD社による、欧州でのニワトリ用製品上市
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない 2018年韓国で上市(ピーク時売上高目標100億円)

## 新製品パイプライン

2022	未定(ピラプロポイン)(NC-241)	殺菌剤	自社開発	汎用性(ピーク時売上高目標50億円)
2024	未定(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや 難防除雑草クログワイに高い効果を持つ (ピーク時売上高目標30億円)
2027	未定(NC-656) (新規記載)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ、アゼガヤ)に優れた効果を持つ 当社初の水稲用茎葉散布除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

\*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

\*\*ブラベクト、エグゾルト:MSD社の販売製品名

- ◆2018年度連結実績 輸出比率:43%(アジア21%、欧州・アフリカ70%、北・中南米9%) ※フルララネルを含める
- ◆2011年9月 イハラプラス社(ブラジル)に3%資本参加
- ◆2014年1月 中国、2016年8月ブラジル、2017年7月インドに現地法人設立(販売、普及、製品開発支援)
- ◆2018年9月 グレーシア原体製造設備完工(投資額14億円)、フルララネル製造設備完工
- ◆2019年9月 埼玉工場製剤研究開発棟完工(投資額6億円)

# 農業化学品セグメント概況- (D) フルララネル



## ◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国で発売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
  - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
  - ・ドイツ、フランス等一部EU諸国では、2029年2月まで延長済み、米国、UKは延長申請中

## ◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間\*にわたって持続する

\*クリロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、2014年6月米国、2015年7月日本、**2019年7月中国**

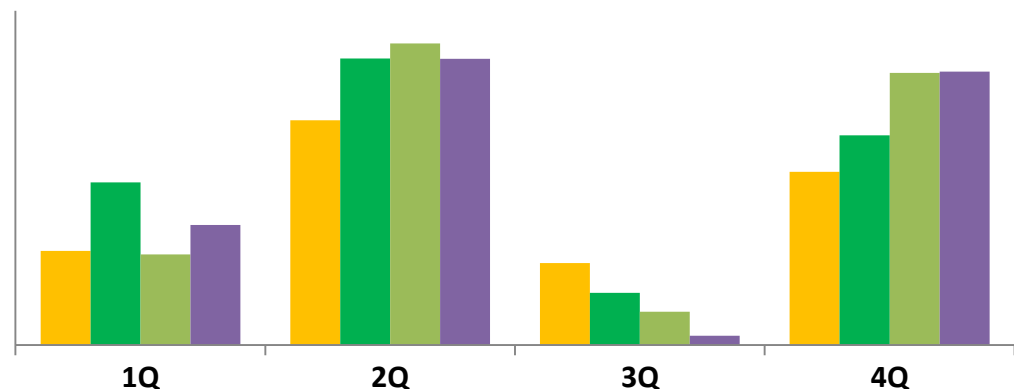
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

2016年7月EU(猫)、2016年12月米国(猫)

2017年1月米国・ドイツ・オーストリア(犬)

2018年6月日本(猫)

■ 当社フルララネル 四半期別売上高(ロイヤリティ収入含む)



1-2Qは実績、3-4Qは予想

## ◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月欧州

## ◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月EU

フルララネル売上高2018~2021予想は、中期経営計画「Vista2021」Stage II 説明資料(2019年5月15日公表)p30参照



# 農業化学品セグメント概況 – (E-1) セグメント収益動向

(億円)

	2018実績(A)							2019予想 (2019/5発表)					2019予想(B) (2019/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	164	123	287	59	281	340	627	141	142	283	359	642	147	132	279	52	312	364	643	-8	+24	+16
営業利益	51	47	98	-13	99	86	184	36	56	92	98	190	45	49	94	-22	124	102	196	-4	+16	+12

## 2019 1Q実績

### <前年同期比>

- ◆ 増収: グレーシア(国内)
- ◆ 減収: フルララネル(プラベクト在庫調整影響)、タルガ(輸出)、ライメイ(輸出)、パルサー(輸出)、スターマイト(輸出)、ラウンドアップ
- ◆ 固定費減少2億円
- ◆ 在庫変動影響-3億円(マイナス影響)
- ◆ 売上高-17億円、営業利益-6億円

### <2019/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: フルララネル、グレーシア(国内)
- ◆ 売上高下ぶれ: タルガ(輸出)、ライメイ(国内)、パルサー(輸出)、ラウンドアップ
- ◆ 固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+6億円、営業利益+9億円

## 2019 2Q実績

### <前年同期比>

- ◆ 増収: グレーシア(国内・輸出)、ラウンドアップML・AL(昨年は猛暑や自然災害影響で減収)、パルサー(輸出)、タルガ(輸出)、アルテア
- ◆ 前年並み: フルララネル
- ◆ 減収: パーミット(輸出)、サンマイト(輸出)
- ◆ 固定費増加2億円
- ◆ 売上高+9億円、営業利益+2億円

### <2019/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: パルサー(輸出)、アルテア
- ◆ 売上高下ぶれ: グレーシア(1Qへ出荷前倒し)、フルララネル(円高)、ラウンドアップAL(ユーザー獲得のため低価格品比率増)、ライメイ
- ◆ 売上高-10億円、営業利益-7億円

# 農業化学品セグメント概況 – (E-2) セグメント収益動向

## 2019上実績

### <前年同期比>

- ◆ 増収: グレーシア(国内・輸出、19年5月国内新規上市)、ラウンドアップML・AL(去年は猛暑や自然災害影響で減収)、アルテア、パルサー(輸出)
- ◆ 減収: フルララネル(ブラベクト在庫調整影響)、タルガ(輸出)、ライメイ(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 在庫変動影響-3億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-8億円、営業利益-4億円

### < 2019/5業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: グレーシア(国内)、フルララネル、パルサー(輸出)、アルテア
- ◆ 売上高下ぶれ: タルガ(輸出)、ラウンドアップAL(ユーザー獲得のため低価格品比率増)、ライメイ、グレーシア(輸出(国内優先))
- ◆ 固定費下ぶれ4億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-4億円、営業利益+2億円

## 2019下予想

### <前年同期比>

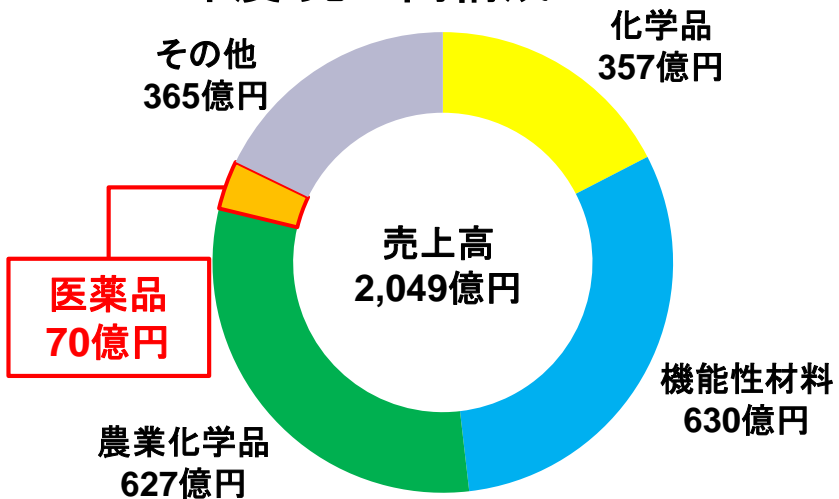
- ◆ 増収: グレーシア(国内・輸出、19年5月国内新規上市)、パーミット(輸出)、フルララネル(出荷時期のずれ、p40四半期別売上高参照)、ラウンドアップML
- ◆ 減収: シリウス(国内)、ライメイ(輸出)、サンマイト(輸出)
- ◆ 固定費増加4億円
- ◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+24億円、営業利益+16億円

### < 2019/5業績予想比>

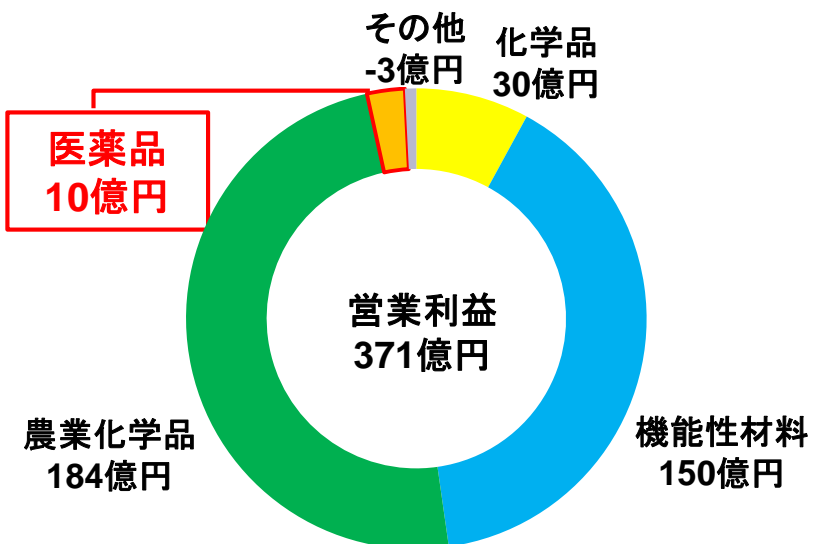
- ◆ 売上高上ぶれ: グレーシア(国内、販売好調)、アルテア(国内)
- ◆ 売上高予想通り: ラウンドアップ(ML上ぶれ、AL下ぶれ)
- ◆ 売上高下ぶれ: フルララネル(上期へ出荷前倒し、円高)、シリウス(国内)、パルサー(輸出)
- ◆ 固定費上ぶれ3億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+5億円、営業利益+4億円

# 医薬品セグメント概況 – (A) 業績

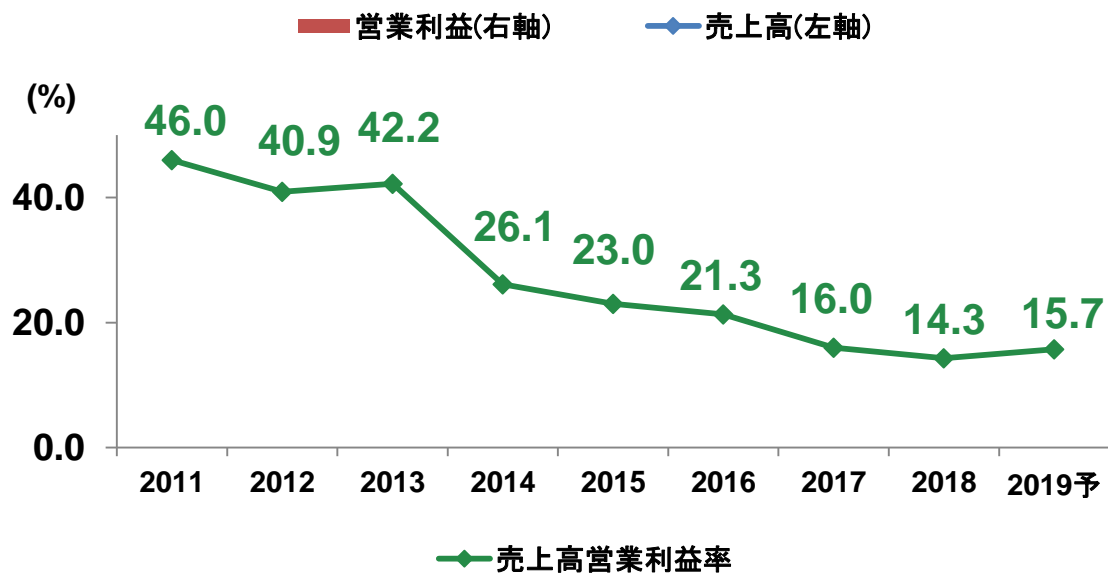
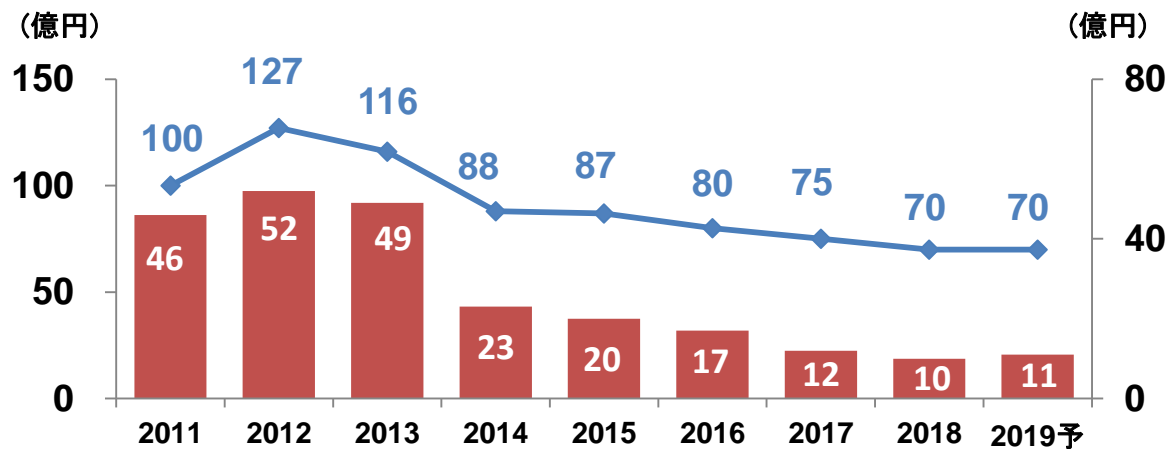
## 1. 2018年度 売上高構成



## 2. 2018年度 営業利益構成

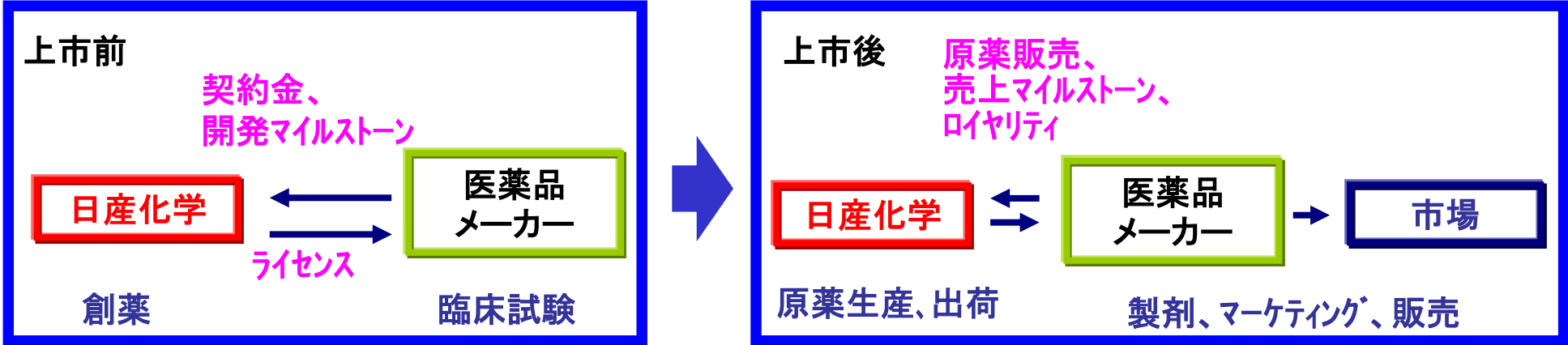


## 3. 医薬品業績推移



# 医薬品セグメント概況 – (B) 新薬ビジネスモデルとリバロ

◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル



◆ リバロ

売上高	2013実績	2014実績	2015実績	2016実績	2017実績	2018実績	2019予想 (2019/5発表)	2019予想 (2019/11発表)
国内末端 (薬価ベース、億円)	526	345	297	239	210	167	-	-
当社原薬 (国内外合計、億円)	102	69	58	52	48	43	41	39
当社原薬 前年同期比成長率	-2%	-32%	-15%	-11%	-7%	-11%	-5%	-10%
(うち国内)	(-2%)	(-46%)	(-27%)	(-42%)	(-73%)	(-53%)	(+59%)	(+59%)
(うち海外)	(-1%)	(+21%)	(+5%)	(+26%)	(+29%)	(-6%)	(-9%)	(-14%)

- 2013年8月 国内物質特許満了
- 2018年12月 米国で後発品に対する特許権侵害訴訟 (ANDA-Abbreviated New Drug Application-訴訟)勝訴確定
- 現在25か国で販売中

# 医薬品セグメント概況 – (C) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウムチャネル(IKACH)阻害	・不整脈 (心房細動など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝人ファーマ、ブリストルマイヤーズ・スクイブとのライセンス契約終了(2015/9)</li> <li>・新たな導出先検討中</li> <li>・AMED*革新的医療シーズ実用化研究事業に採択(2018/9)</li> <li>・大阪大学と医師主導治験開始に向けて準備中</li> </ul>

\*国立研究開発法人日本医療研究開発機構

## <創薬研究方針>

戦略的に構築した化合物ライブラリ、精密有機合成力、独自の核酸構造、最先端の評価技術を駆使して、革新的な医薬品を創り出す

### ◆ 自社創薬研究

・イオンチャネル評価力を基軸に循環器疾患領域と神経疾患領域に集中

### ◆ 戦略的共同研究

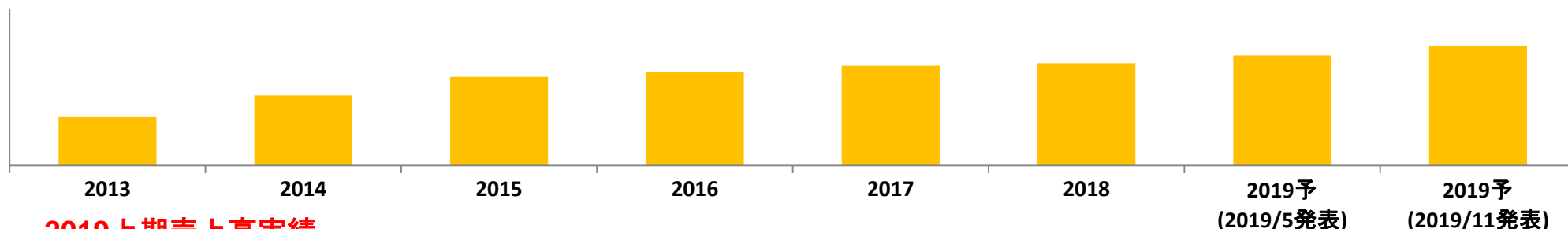
・低分子医薬品創薬について塩野義製薬他、数社と共同研究を実施中

・核酸医薬品創薬についてルクサナバイオテック他、数社と新たに共同研究を開始

# 医薬品セグメント概況 – (D) ファインテック

- ◆ 医薬品技術開発型受託事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託
- ◆ 加えて高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心として、新規案件獲得に注力
  - 2016年～マキサカルシトール(角化治療薬、二次性副甲状腺機能亢進症)
  - 2017年～エルデカルシトール(骨粗しょう症治療薬)

## ◆ ファインテック売上高推移



### 2019上期売上高実績

<前年同期比>  
<2019/5業績予想比>

横ばい  
予想通り

### 2019下期売上高予想

<前年同期比>  
<2019/5業績予想比>

増収(出荷量増加)、高付加価値ジェネリック原薬好調  
上ぶれ(出荷量上ぶれ)

前年同期比 連結売上高成長率								
2018実績			2019予想 (2019/5 発表)			2019予想 (2019/11 発表)		
上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
+18%	-10%	+3%	-1%	+16%	+8%	-0%	+35%	+17%

# 医薬品セグメント概況 – (E) ペプチスター(株)への出資

- ◆ペプチスター(株)(以下PS社)への9億円出資(第三者割当増資後出資比率8.2%)
- ◆PS社: ペプチドリーム(株)、塩野義製薬(株)、積水化学工業(株)の3社合弁による世界初の特殊ペプチド原薬製造受託会社(2017年9月設立)
- ◆PS社資金調達: 日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE) 90億円  
第三者割当増資 約110億円 合計約200億円
- ◆PS社事業計画: 2019年4月に研究棟、2019年7月に製造棟竣工
- ◆当社の役割: 特殊ペプチドの大量生産に適した液相法製造技術の開発
- ◆当社事業への影響: これまで当社で開発してきた特殊ペプチド原薬の新たな製造技術に磨きをかけ、飛躍的なコスト削減を達成することにより、医薬品受託製造事業の拡大を図る

(白紙)



# 医薬品セグメント概況 – (F-1) セグメント収益動向

(億円)

	2018実績(A)							2019予想 (2019/5発表)					2019予想(B) (2019/11発表)							増減 (B)-(A)		
	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q実	2Q実	上実	3Q	4Q	下	計	上実	下	計
売上高	18	19	37	19	14	33	70	16	18	34	36	70	19	15	34	16	20	36	70	-3	+3	-0
営業利益	3	3	6	4	0	4	10	1	4	5	5	10	4	1	5	2	4	6	11	-1	+2	+1

## 2019 1Q実績

<前年同期比>

- ◆ リバロ増収(国内増収、輸出増収)
- ◆ ファインテック減収
- ◆ 売上高+1億円、営業利益+1億円

< 2019/5業績予想比>

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高下ぶれ
- ◆ 売上高+3億円、営業利益+3億円

## 2019 2Q実績

<前年同期比>

- ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
- ◆ ファインテック増収
- ◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-4億円、営業利益-2億円

< 2019/5業績予想比>

- ◆ リバロ売上高下ぶれ(国内下ぶれ、輸出下ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高上ぶれ
- ◆ 売上高-3億円、営業利益-3億円

# 医薬品セグメント概況 – (F-2) セグメント収益動向

## 2019上実績

### <前年同期比>

- ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
- ◆ ファインテック横ばい
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-3億円、営業利益-1億円

### < 2019/5業績予想比>

- ◆ リバロ売上高予想通り(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高予想通り
- ◆ 売上高予想通り、営業利益予想通り

## 2019下予想

### <前年同期比>

- ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
- ◆ ファインテック増収(出荷量増加)
- ◆ 売上高+3億円、営業利益+2億円

### < 2019/5業績予想比>

- ◆ リバロ売上高下ぶれ(国内下ぶれ、輸出下ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高上ぶれ(出荷量上ぶれ)
- ◆ 売上高予想通り、営業利益+1億円

# セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資 (1)						減価償却 (2)						研究開発費用						売上高比率
	2015	2016	2017	2018	2019E (2019/5)	2019E (2019/11)	2015	2016	2017	2018	2019E (2019/5)	2019E (2019/11)	2015	2016	2017	2018	2019E (2019/5)	2019E (2019/11)	
化学	23	20	26	20	32	32	14	16	17	18	20	19	5	5	6	6	5	4	1.1%
機能性	54	84	72	33	43	38	52	48	59	60	55	52	74	79	81	82	86	81	12.8%
農業化学	13	24	26	33	7	15	14	13	14	17	18	18	39	38	43	45	47	45	7.0%
医薬	4	9	7	5	5	6	8	7	7	6	6	6	24	22	25	25	25	25	35.7%
卸売	0	0	0	1	4	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	-
その他	8	6	6	7	6	7	8	4	7	7	7	7	16	17	17	20	20	20	-
合計	102	143	137	99	97	101	97	89	105	109	107	103	158	161	172	178	183	175	
(売上高研究開発費比率)												8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.7%	8.4%		

## (1) 設備投資額

実績 - 検収ベース

予想 - 稼働開始ベース

## (2) 減価償却法

サンエパー・ARC® - 4年定率(初年度50%を償却)

その他製品 - 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(19/9) -①	450
総合職人員(19/9) -②	1,165
①/②	39%

※単体ベース(海外駐在員含む)

※概数

# 主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2016実績		2017実績		2018実績		2019予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
NCK 半導体増強	26	農薬(設備新設)	14	物質研(機器)	7	半導体材料研新棟	20
材料研(機器)	11	NSU R&Dセンター	10	材料研(機器)	7	シアヌル酸(1)増強	19
半導体(評価機器)	10	材料研(機器)	9	農薬(開発新棟)	6	DP(製造設備)	16
物質研(機器)	6	物質研(機器)	6	NSU R&Dセンター	5	物質研(機器)	7
スノーテックス増強	5	DP(試験製造)	3	テピック増強	5	材料研(機器)	6
NCK サンエバー増強	3	生物科学研(機器)	3	生物科学研(機器)	4	生物科学研(機器)	3
スノーテックス増強	3	DP(製造設備)	3	半導体製造試験	2	(1) ファインケミカル(p24参照)	
生物科学研(機器)	2			スノーテックス増強	2		
NCK R&Dセンター(機器)	2						

# 新中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021) – (A)

## 1. PL

	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)	(億円)
	2018	2021	2021	
売上高	2,049	2,350	2,500	
営業利益	371	430	400	
経常利益	391	440	408	
当期純利益	294	330	310	
EPS(円/株)	197.67	230.00	-	
配当(円/株)	82	-	-	
為替レート(円/ドル)	111	110	115	
ナフサ(円/kl)	49,700	43,000	51,100	

### (経営指標)

	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)
	2018	2020、2021	2021
売上高営業利益率	18.1%	18%以上	15%以上
ROE	16.6%	16%以上	14%以上
配当性向	41.5%	45%	40%
総還元性向	72.0%	75%	70%

(億円)

## 2. セグメント<sup>(1)</sup>

	売上高			営業利益		
	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)	実績	新中計 (2019/5発表)	旧中計 (2016/5発表)
	2018	2021	2021	2018	2021	2021
化学品	357	431	405	30	51	45
機能性材料	630	751	829	150	173	184
農業化学品	627	701	670	184	211	167
医薬品	70	75	83	10	7	24
卸売・その他・調整	365	392	513	-3	-12	-20
<b>合計</b>	<b>2,049</b>	<b>2,350</b>	<b>2,500</b>	<b>371</b>	<b>430</b>	<b>400</b>

(1) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 新中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021) – (B)

## 1. キャッシュフロー

	実績	新中計	(億円)
	2016-2018 合計	2019-2021 合計(概数)	
営業CF	1,021	1,150	
投資CF	-392	-450	
財務CF	-620	-750	
(うち株主還元)	-556	-700	
(うち借入金返済)	-64	-50	
	2019/3	2022/3	
期末現預金残高	362	300	

## 2. 設備投資、減価償却費、研究開発費、研究開発要員

	(億円)						(人数)	
	設備投資		減価償却費		研究開発費		研究開発要員	
	実績	新中計	実績	新中計	実績	新中計	実績	新中計
	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2018	2021
化学品	66	147	52	94	16	14	10	10
機能性材料	189	178	167	170	243	267	200	210
農業化学品	83	82	44	55	126	148	95	95
医薬品	21	17	21	18	72	71	85	90
卸売・その他・調整	20	23	19	31	54	80	80	75
<b>合計</b>	<b>379</b>	<b>447</b>	<b>303</b>	<b>368</b>	<b>511</b>	<b>580</b>	<b>470</b>	<b>480</b>

# ESGへの取り組み、外部からの評価

## ◆ ESGインデックス等

2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に3年連続認定

2019年7月 MSCI日本株女性活躍指数(WIN)構成銘柄に選定

2019年9月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に  
2年連続で選定

「統合レポート2019」を発行

[https://www.nissanchem.co.jp/ir\\_info/archive/ar/ar2019.pdf](https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2019.pdf)

## ◆ ガバナンス

2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)

2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)  
社外取締役を1名増員し、3名体制へ(取締役は計9名)

## ◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

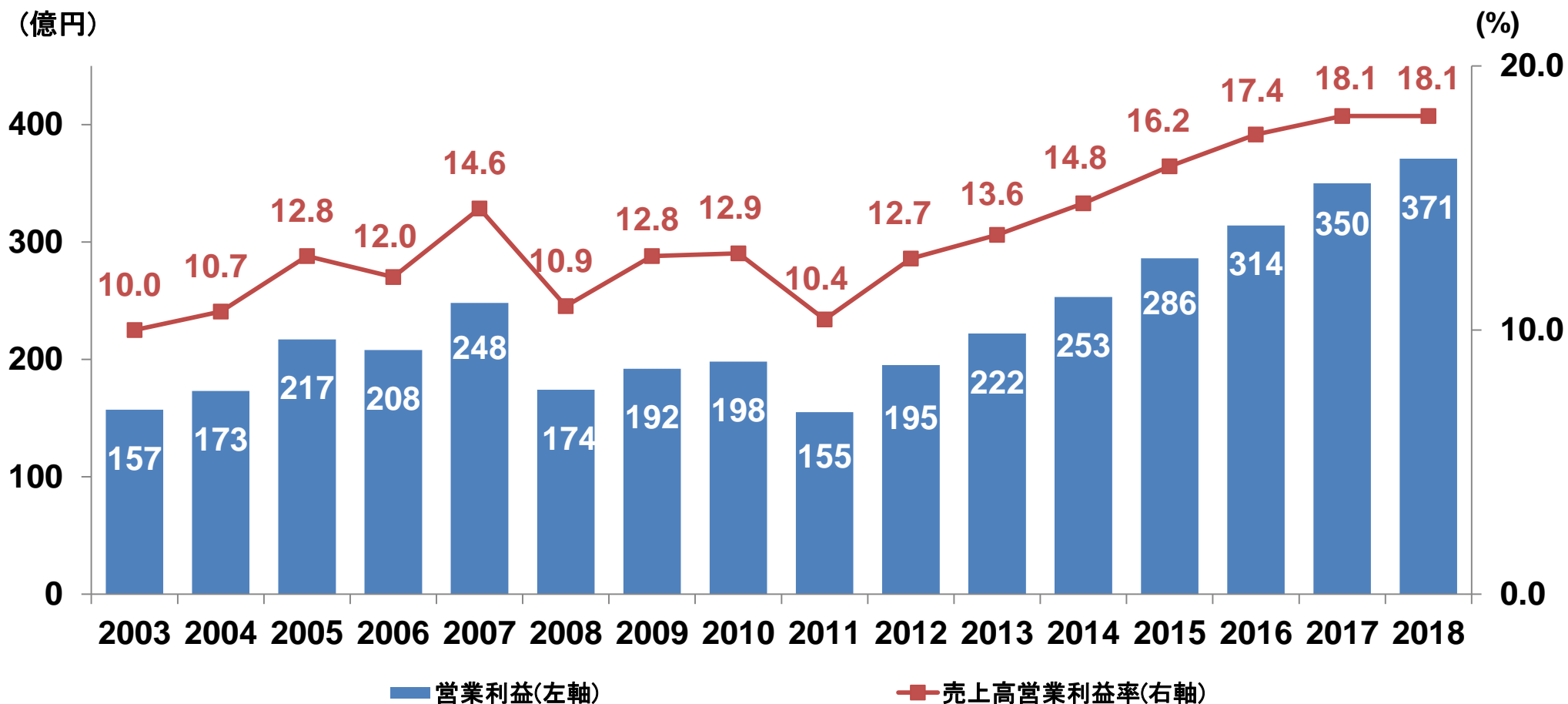
2019年8月 「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中の  
50社に2年連続選定

(白紙)



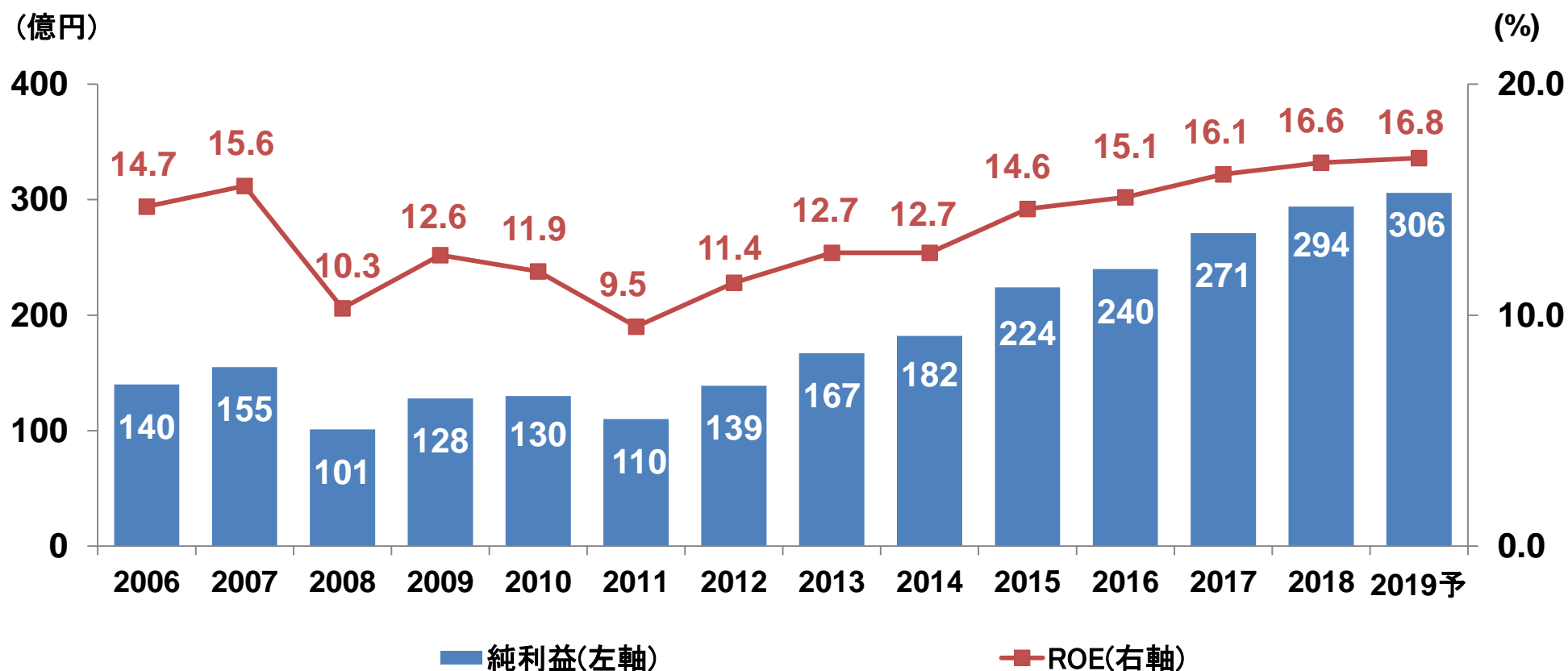
## 当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持  
(2003年度以降16年連続10%以上)



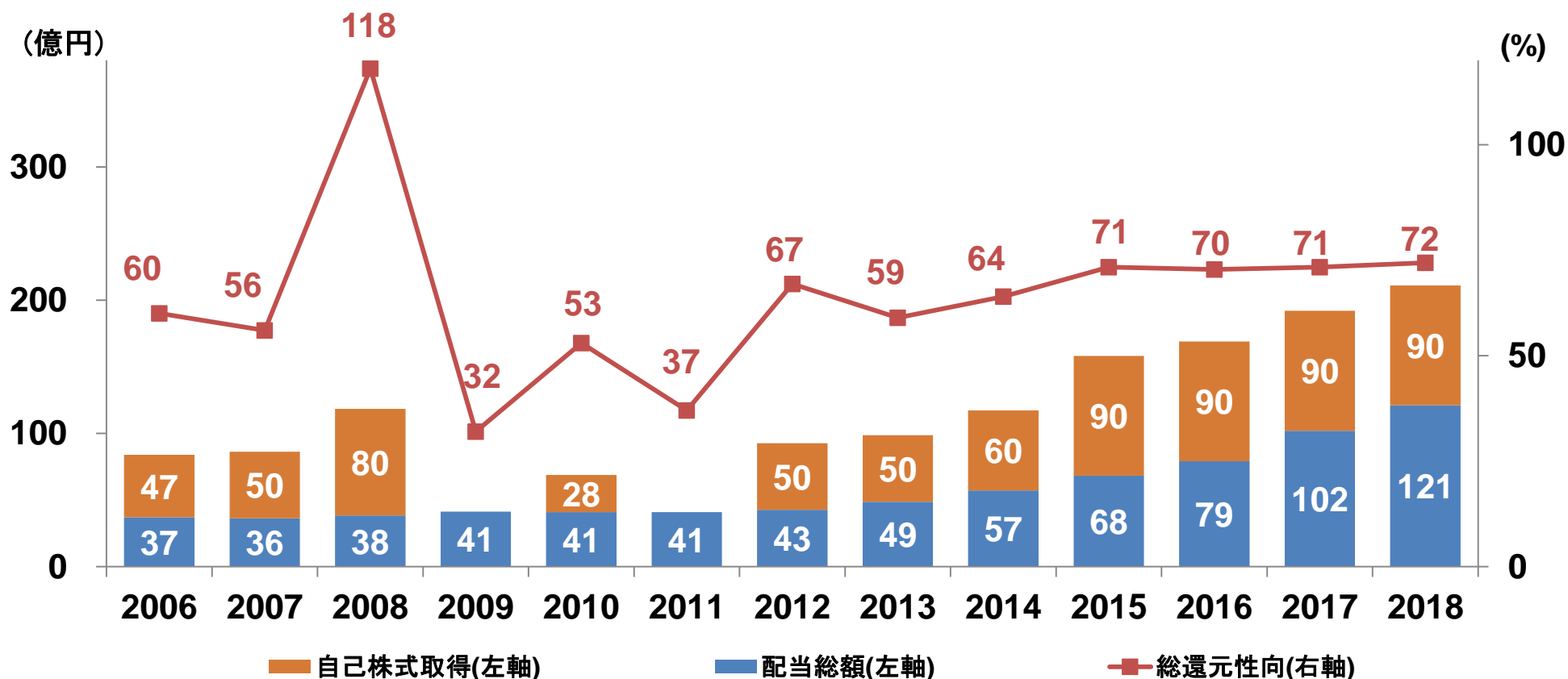
## 当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 2018年度実績は16.6%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標



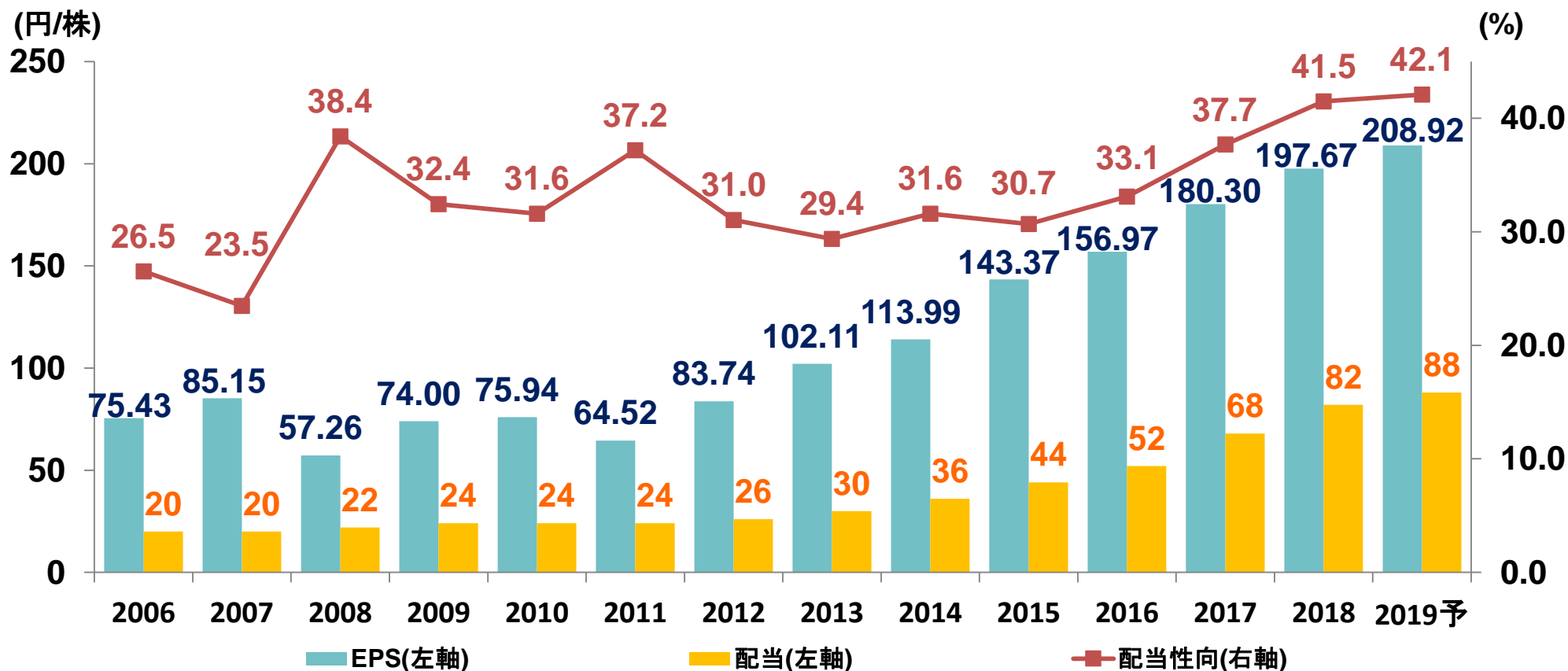
## 当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 2018年度実績は72.0%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標



## 当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ、2018年度実績41.5%
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では  
2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標



# 当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-18年度取得総額725億円、3,875万株(取得開始前発行済株式の20.7%)
- ◆ 2006-18年度取得株はすべて消却済

## 2006-18年度 自己株式取得実績

(1) 単元未満株式買取を除く (2) 単元未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	38,748
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	90	725
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	38,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	149	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	72	

### ◆ 取得

年度	2018実績		2019実績	2019計画 (2019年11月8日発表分)
取得時期	2018年5月14日 ～6月8日	2019年2月12日 ～3月4日	2019年5月16日 ～7月23日	2019年11月11日 ～2020年4月30日
取得総額(億円)	50	40	60	40(上限)
取得株数(千株)	976	706	1,270	1,300(上限)

### ◆ 消却

年度	2019実績	
消却時期	2019年5月	2019年8月
消却株数(千株)	1,000	1,000

### ◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

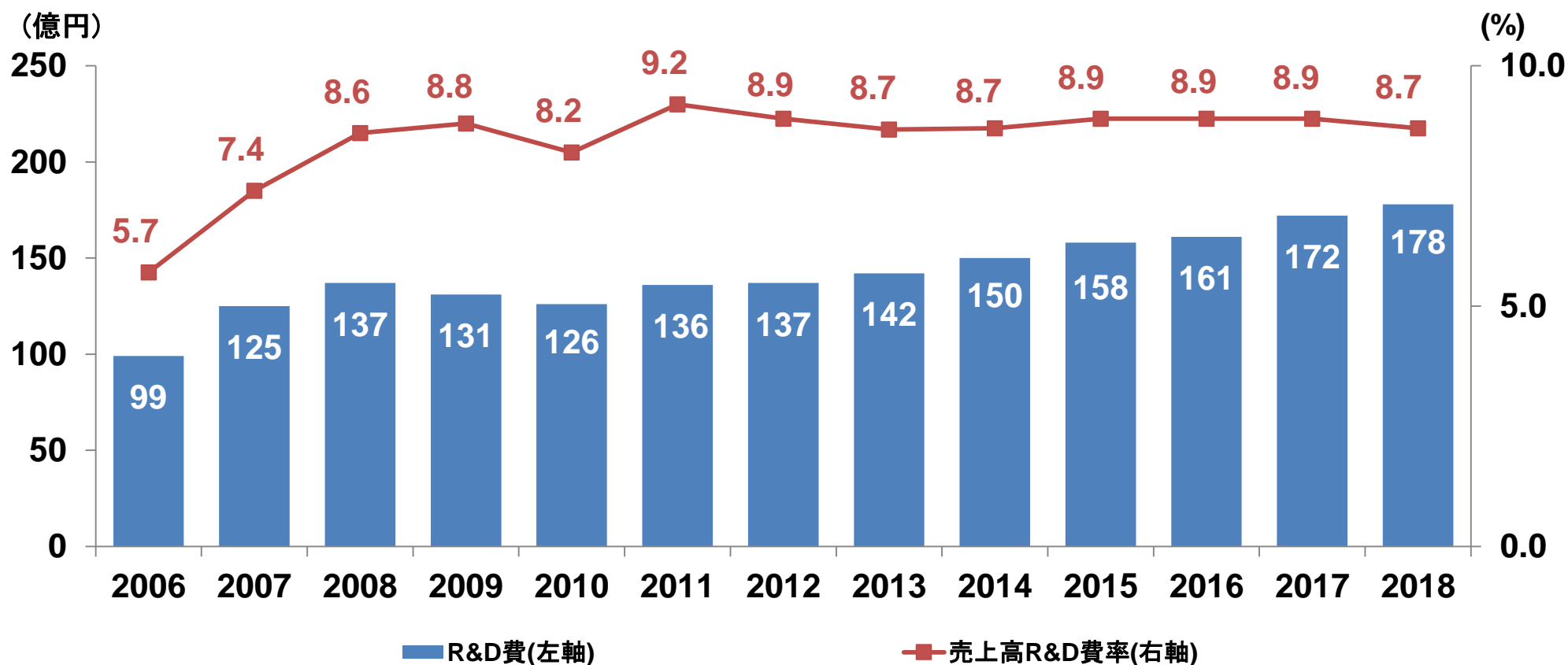
目標現預金残高水準

= 必要下限額 + 流動性リスク対応 [1/3 × (長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)]  
+ 偶発リスク対応

(白紙)

## 当社の特徴- (F-1)研究開発

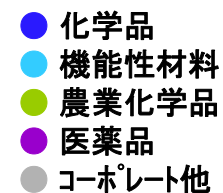
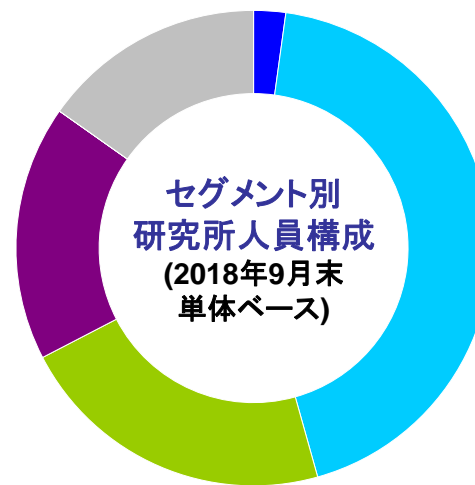
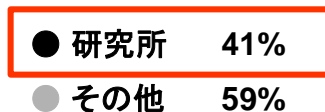
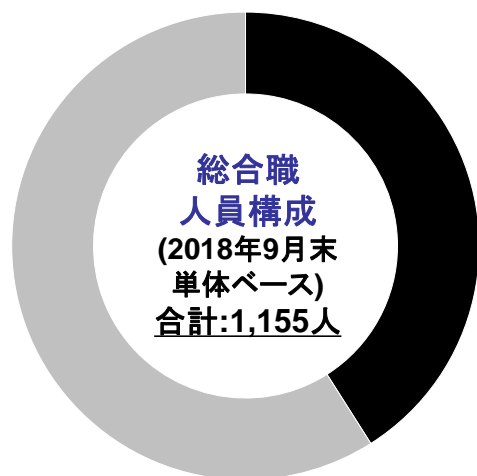
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



# 当社の特徴- (F-2)研究開発

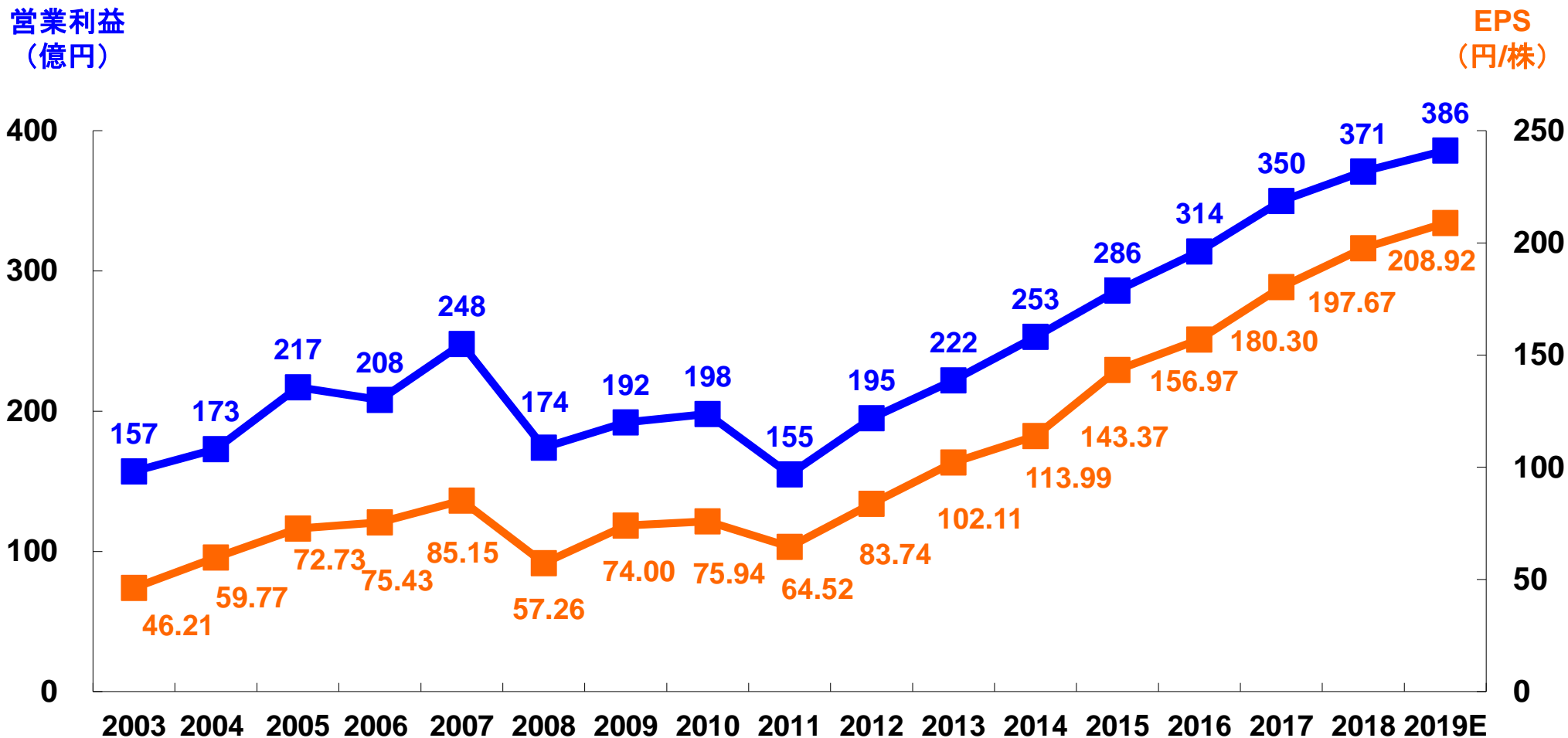
## ◆セグメント別研究開発費

セグメント	2018年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	357	30	8.4%	6	1.7%
機能性材料	630	150	23.8%	82	13.0%
農業化学品	627	184	29.3%	45	7.2%
医薬品	70	10	14.3%	25	35.7%
コーポレート他	-	-	-	20	-
その他共通合計	2,049	371	18.1%	178	8.7%





# 長期業績推移



# 長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,090
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	397
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	306
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	489
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.5%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.8%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	208.92
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	88
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.1%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	101
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	103
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	175
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.4%

# 2015-19 2Q 四半期別セグメント別売上高(1)

(億円)

	2015実績					2016実績					2017実績					2018実績					2019実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	87	80	90	86	343	85	80	91	92	348	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84
ファイン	30	25	25	26	106	28	25	27	27	107	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26
基礎	57	55	65	60	237	57	55	64	65	241	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58
機能	130	130	136	122	518	126	129	138	135	528	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163
農化	136	75	50	214	475	145	95	42	238	520	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132
医薬	21	16	35	15	87	22	15	24	19	80	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15
卸売	147	128	149	132	556	144	132	137	139	552	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158
他	41	48	47	73	209	40	46	58	96	240	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49
調整	-110	-92	-110	-107	-419	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123
合計	452	385	397	535	1,769	451	394	376	582	1,803	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2015-19 2Q 四半期別セグメント別営業利益

(億円)

	2015実績					2016実績					2017実績					2018実績					2019実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	15	-1	12	13	39	15	-2	13	12	38	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6
機能	34	29	36	21	120	30	32	38	25	125	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	39	43
農化	44	18	-13	59	108	45	24	-20	83	132	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49
医薬	4	2	16	-2	20	6	0	8	3	17	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1
卸売	5	4	5	4	18	4	4	5	4	17	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5
他	0	0	0	5	5	0	0	2	8	10	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0
調整	-8	-3	-7	-6	-24	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-10	-5
合計	94	49	49	94	286	95	52	40	127	314	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87

# セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019E
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	373
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	635
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	643
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	671
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-526
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,090

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	34
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	151
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	196
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	11
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	6
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-33
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	9.1%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	23.8%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.5%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	15.7%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	2.7%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.5%

<セグメント資産 (D)>

2018
287
513
618
91
255
115
591
2,470

<ROA (E)=(B)/(D)>

10.5%
29.2%
29.8%
11.0%
7.8%
7.8%
15.0%

(1)2010-11：旧セグメント, 2012-：新セグメント

(2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル                      テピック                      メラミンシアヌレート                      ハイライト</p> <p>◆基礎化学品                      メラミン                      尿素、アドブルー                      高純度硫酸                      アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤                      難燃剤                      塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤                      アドブルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水）                      半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料                      サンエハー                      ARC®(KrF、ArF)                      OptiStack®(多層材料)                      NHC                      OPTIFOCUS                      エルソース</p> <p>◆無機コロイド                      スノーテックス</p> <p>オルガノゾル・モノマーゾル                      アルミナゾル                      サンコロイド                      セルナックス                      オイル&amp;ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリイミド                      半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC)                      *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標                      タッチパネル用絶縁膜                      イメージセンサー用マイクロレンズ材料                      有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、                      脱硝触媒、特殊鋼板</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤                      自動車用触媒、電子機器                      眼鏡レンズ用高屈折率ゾル                      フィルム用帯電防止                      シェールオイル・ガス探掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤                      タルガ                      パーミット                      シリウス                      ラウンドアップ                      アルテア</p> <p>◆殺虫剤                      サンマイト、マイトコーネ、スターマイト                      グレーシア</p> <p>◆殺菌剤                      パルサー、イカルガ、グレートム                      (チフルサミト)                      ライメイ</p> <p>◆動物薬                      フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい                      とうもろこし、さとうきび、米                      米                      非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園                      米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜                      野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしょ</p> <p>野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬フラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

# 免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



**Nissan Chemical**  
CORPORATION